NEC



活用ガイド
ソフトウェア編

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの追加と削除

パソコンのメンテナンスと管理

トラブル解決Q&A

PC98-NX SERIES

VersaPro

（Windows® 2000 Professional インストール）

マニュアルの主な内容

このパソコンには、次のマニュアルが用意されています。



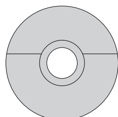
●『はじめにお読みください』
このパソコンの接続方法やWindowsのセットアップ手順について説明しています。

- ・型番の確認
- ・添付品の接続
- ・Windowsのセットアップ
- ・マニュアル紹介



●『活用ガイド 再セットアップ編』
このパソコンを再セットアップする場合の方法について説明しています。

- ・再セットアップの方法



◎『マニュアル CD-ROM』
『活用ガイド ハードウェア編』、『活用ガイド ソフトウェア編』がPDF形式で収録されています。利用方法については『はじめにお読みください』をご覧ください。

●『活用ガイド ハードウェア編』
このパソコンの取り扱い方法などを説明しています。

- ・キーボード、ハードディスク、CD-ROMドライブなどの取り扱い
- ・周辺機器の接続と利用方法
- ・システム設定について

●『活用ガイド ソフトウェア編』
アプリケーションの利用方法、追加と削除の方法について説明しています。また、さまざまなトラブルへの対応方法をQ&A形式で説明しています。

- ・アプリケーションの利用方法
- ・トラブル解決Q&A

はじめに

　このマニュアルは、パソコンにインストールまたは添付されているアプリケーションについて説明しています。

　また、パソコンを使用中にトラブルが起こったときの対応や解決方法について説明しています。

2001年 2月　初版

対象機種　　（Windows® 2000 Professionalインストールモデル）

VA80J/WX、VA70J/WX、VA70J/WS、VA70H/WX、VA65H/WT、VA65H/WS、VA85J/AF、VA70J/AF、VA60J/BH、VA50H/BS、VA70J/VH

853-810060-020-A

このマニュアルの表記について

◆このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。
	パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
	利用の参考となる補足的な情報をまとめています。
	マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。
	トラブルを解決するために確認の必要があることや、チェックポイントなどを示しています。

◆このマニュアルで使用している表記の意味

コンパクトオールインワンノート	VA80J/WX、VA70J/WX、VA70J/WS、VA70H/WX、VA65H/WT、VA65H/WS
ハイスペックノート	VA85J/AF、VA70J/AF
モバイルノート	VA70J/VH、VA60J/BH、VA50H/BS
モバイルノート（ベイ内蔵型）	VA70J/VH
モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）	VA60J/BH、VA50H/BS
CD-ROMモデル	CD-ROMドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-R/RWモデル	CD-R/RWドライブを内蔵または添付しているモデルのことです。
CD-R/RW with DVD-ROMモデル	CD-R/RW with DVD-ROMドライブを内蔵しているモデルのことです。
FAXモデム内蔵モデル	FAXモデムを内蔵しているモデルのことです。
ワイヤレスモデル	本体にワイヤレス通信機能を内蔵し、別売のワイヤレスモデムステーションやAtermIWシリーズと無線通信が可能なモデルのことです。
LAN内蔵モデル	LANインターフェイスを内蔵しているモデルのことです。
スーパーディスクモデル	スーパーディスクドライブが内蔵されているモデルのことです。

Office 2000 Personalモデル	Office 2000 Personalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
Office 2000 Professionalモデル	Office 2000 Professionalがあらかじめインストールされているモデルのことです。
暗証番号機能モデル	セキュリティ用の暗証番号入力機能を搭載したモデルのことです。
内蔵指紋センサモデル	指紋センサを内蔵しているモデルのことです。
【　】	【　】で囲んである文字は、キーボードのキーを指します。
「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「プログラム」を選択し、横に現れるサブメニューから「アクセサリ」を選択する操作を指します。
「コントロールパネル」を開く	「スタート」ボタン→「設定」→「コントロールパネル」をクリックする操作を指します。
BIOSセットアップメニュー	BIOSセットアップメニューまたはBIOSセットアップユーティリティを指します。

◆このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows、Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版
Windows NT 4.0	Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0 日本語版
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版 またはMicrosoft® Windows® 98 operating system 日本語版
Windows 98 Second Edition	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版
Windows 3.1	Microsoft® Windows® operating system Version 3.1 日本語版
Windows 95	Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版
インターネットエクスプローラ、Internet Explorer、Internet Explorer5.5	Microsoft® Internet Explorer 5.5
Outlook Express	Microsoft® Outlook® Express 5.5

本文中の表記	正式名称
Office 2000 Personal	Microsoft® Office 2000 Personal(Microsoft Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft/Shogakukan Bookshelf® Basic)
Office 2000 Professional	Microsoft® Office 2000 Professional(Microsoft® Word 2000、Microsoft Excel 2000、Microsoft Outlook® 2000、Microsoft Power Point® 2000、Microsoft Access 2000、Microsoft Publisher 2000、Microsoft®/Shogakukan Bookshelf® Basic)
MS-IME 2000	Microsoft® IME 2000
Masty Data Backup	Masty Data Backup/F for Windows 2000
Easy CD Creator	Easy CD Creator™ 4 Standard
DirectCD	DirectCD™ 3
Acrobat Reader	Adobe® Acrobat™ Reader 4.05
スーパーディスク	Super Disk™
VirusScan	VirusScan Ver4.5

◆このマニュアルで使用しているイラストと画面

・本書に記載のイラストや画面は、モデルによって異なることがあります。

・本書に記載の画面は、実際の画面とは多少異なることがあります。



当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品は、コンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

■電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

■漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

■瞬時電圧低下について

[バッテリパックを取り付けていない場合]

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。
電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをおすすめします。

[バッテリパックを取り付けている場合]

本装置にバッテリパック実装時は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しますが、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

■レーザ安全基準について

CD-ROMモデル、CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルには、レーザに関する安全基準(JIS・C-6802、IEC825)クラス1適合のCD-ROMドライブ、CD-R/RWドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが内蔵または添付されています。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3)本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBIT-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。ご購入元までご連絡ください。
(4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
(5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6)海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare℠ International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.nec.co.jp/jpn/
(7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされているMicrosoft® Windows® 2000 Professionalは、本機でのみご使用ください。また、本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでしかご利用になれません(詳細は「ソフトウェアのご使用条件」および「ソフトウェア使用条件適用一覧」をお読みください)。
(8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。

■輸出に関する注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠していません。
本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。
また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っていません。(ただし、海外保証サービス[NEC UltraCare^SM International Service]対象機種については、海外でのハードウェア保守サービスを実施致します。)

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、外国為替および外国貿易法に基づいて経済産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。
輸出に際しての許可の要否については、ご購入頂いた販売店または当社営業拠点にお問い合わせ下さい。

■Notes on export

This product (including software) is designed under Japanese domestic specifications and does not conform to overseas standards.
NEC will not be held responsible for any consequences resulting from use of this product outside Japan.
NEC does not provide maintenance service nor technical support for this product outside Japan. (Only some products which are eligible for NEC UltraCare^SM International Service can be provided with hardware maintenance service outside Japan.)

Export of this product (including carrying it as personal baggage) may require a permit from the Ministry of Economy, Trade and Industry under an export control law. Export without necessary permit is punishable under the said law. Customer shall inquire of NEC sales office whether a permit is required for export or not.

目　次

PART 1

PART 2

PART 3

PART 4

PART 5

索引 163

PART

1

添付アプリケーションについて

添付アプリケーションの用途、使用上の注意事項、必要な設定などを説明します。

添付アプリケーションの紹介

本機に添付のアプリケーション

本機には、次のようなアプリケーションが添付されています。

アプリケーションCD-ROMや専用CD-ROMに格納されているアプリケーションを使うときは、PART2の「追加のしかた」の手順にしたがってアプリケーションをハードディスクにインストールしてください。

コンパクトオールインワンノート、ハイスペックノートの場合

○　：プリインストール
△※1：アプリケーションCD-ROMに格納
△※2：専用CD-ROMに格納
△※3：マニュアルCD-ROMに格納
－　：非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	コンパクトオールインワンノート	ハイスペックノート
ワープロ、表計算、スケジュール管理	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	○	
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)	○	
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer5.5	○	
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express	○	
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	△※1	
CD-R/CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
CD-R/CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
PDFファイルの表示／印刷	Acrobat Reader	△※1	
VersaPro用電子マニュアル	マニュアルCD-ROM	△※3	
ウイルスチェック／駆除	VirusScan	△※1	
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	△※1	

おもな機能	アプリケーションの名称	コンパクトオールインワンノート	ハイスペックノート
パソコンの保守	Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)	△※1	
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	△※1	
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	△※1	
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	△※1	
メール着信ランプの制御／メールサーバの監視	自動メール受信ユーティリティ	○	－
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定	○	－

モバイルノートの場合

○　：プリインストール
△※1 ：アプリケーションCD-ROMに格納
△※2 ：専用CD-ROMに格納
△※3 ：マニュアルCD-ROMに格納
－　：非添付

おもな機能	アプリケーションの名称	モバイルノート（ベイ内蔵型）	モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）
ワープロ、表計算、スケジュール管理など	Office 2000 Personal(Office 2000 Personalモデルのみ)	○	
	Office 2000 Professional(Office 2000 Professionalモデルのみ)	○	
インターネット閲覧ソフト	Internet Explorer5.5	○	
電子メールの送受信ソフト	Outlook Express	○	
インターネット環境切り替えツール	インターネット設定切替ツール	△※1	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	DirectCD(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
CD-R、CD-RWへのRead/Write用ユーティリティ	Easy CD Creator(CD-R/RWモデル、CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)	△※2	
PDFファイルの表示／印刷	Acrobat Reader	△※1	
VersaPro用電子マニュアル	マニュアルCD-ROM	△※3	
ウイルスチェック／駆除	VirusScan	△※1	
システム設定ツールへのアクセス制限	CyberAccess	△※1	

おもな機能	アプリケーションの名称	モバイルノート（ベイ内蔵型）	モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）
パソコンの保守	Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)	△※1	
ファイルバックアップ	Masty Data Backup	△※1	
リモートメンテナンスツール	pcAnywhere 9.2 EX	△※1	
暗号化ソフト	PGP Personal Privacy	△※1	
メール着信ランプの制御／メールサーバの監視	自動メール受信ユーティリティ	—	○
ワンタッチスタートボタンの設定ツール	ワンタッチスタートボタンの設定	○	

アプリケーションを使う前に

アプリケーションを使う前に知っておいていただきたいこと、使用上の注意事項、機能の概要、必要な設定などについて説明します。

Office 2000 Personal

Office 2000 Personalは、Office 2000 Personalモデルのみにプリインストールされています。
Office 2000 Personalは、次のアプリケーションで構成されています。

- Excel 2000(表計算ソフト)
- Word 2000(ワープロソフト)
- Outlook 2000(メール/スケジュール管理ソフト)

◎ 初回起動時の設定

◆ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。
必要な情報を入力してください。

- 「ユーザー名」、「所属」には、Windowsのユーザー情報が表示されています。
- CDキーは「Office 2000 Personal添付品」に記載されています。

◆オフィシャルユーザ登録

Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000のいずれかを初めて起動すると「Microsoft Office 2000 PersonalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

◆Outlook 2000の設定

Outlook 2000を初めて起動したときには、「Outlook 2000スタートアップ」の画面が表示されます。次ページ(→p.20)の手順で設定してください。


チェック!! **購入後、はじめてOutlook 2000を起動する場合は、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてからOutlook 2000を起動してください。**

1 **「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする**

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 **「企業／ワークグループ」を選び「OK」ボタンをクリックする**

「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

Office 2000 Professional

Office 2000 Professionalは、Office 2000 Professionalモデルのみにプリインストールされています。

Office 2000 Professionalは、次のアプリケーションで構成されています。

・Excel 2000(表計算ソフト)

・Word 2000(ワープロソフト)

・Outlook 2000(メール／スケジュール管理ソフト)

・PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)

・Access 2000(データベース管理ソフト)

・Publisher 2000(DTPソフト)

・顧客データマネージャ 2000(顧客情報管理ソフト)

・Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

◎ 初回起動時の設定

◆ Outlook 2000の設定

Outlook 2000をはじめて起動したときには、次の手順で設定が必要です。

1 **「Outlook 2000スタートアップ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする**

「メール サービス オプション」の画面が表示されます。

2 **「企業／ワークグループ」を選び「次へ」ボタンをクリックする**

「Microsoft Outlookセットアップウィザード」または「インターネット接続ウィザード」の画面が表示されます。必要に応じ、画面の指示にしたがってOutlook 2000のセットアップを行ってください。

◆ユーザー情報の登録

Excel 2000、Word 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動する場合、または「Outlook 2000スタートアップ」の設定後にはじめてOutlook 2000を起動する場合、ユーザー情報を登録する画面が表示されます。
必要な情報を入力してください。

- 「ユーザー名」、「所属」にはWindowsのユーザー情報が表示されています。
- CDキーは「Office 2000 Professional添付品」に記載されています。

◆オフィシャルユーザ登録

ユーザ情報の登録後、Excel 2000、Word 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000、Publisher 2000のいずれかを初めて起動すると、「Microsoft Office 2000 ProfessionalをMicrosoftにオフィシャルユーザ登録しますか?」と表示されます。オフィシャルユーザ登録をしたい場合は、画面の指示にしたがって登録してください。

Internet Explorer5.5

Internet Explorerは、インターネット閲覧用のソフトです。

Outlook Express

Outlook Expressは、広く利用されている多機能な電子メールソフトです。アドレス帳機能や署名機能を使い、メールアドレスの管理や、送付メールへの署名追加なども簡単に行えます。

インターネット設定切替ツール

インターネット設定切替ツールを使うと、複数のダイヤルアップ接続を使い分けたり、ダイヤルアップ接続からLAN接続へ切り替えたりと、利用シーンに応じて通信環境を切り替えることができます。パソコンを携帯して、外出先でインターネットを利用するときなどに便利な機能です。



インターネット設定切替ツールについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「内蔵モデム」

DirectCD

DirectCDは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。
DirectCDを使うと、フロッピーディスクやハードディスクと同じような感覚でCD-RやCD-RWにデータを保存したり移動したりすることができます。簡単にデータを保存することができるので、データのバックアップなどに適しています。

参照 **DirectCDの使いかたについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」**

チェック!! **ご利用になるときは、必ずAdministrator権限を持つ半角英数字のユーザー名でログインしてください。**

Easy CD Creator

Easy CD Creatorは、CD-R/RWモデルとCD-R/RW with DVD-ROMモデルに添付されています。
Easy CD Creatorは、CD-RやCD-RWにデータを書き込むことができるアプリケーションです。

> Easy CD Creatorで書き込んだCD-RWは、マルチリード対応のCD-ROMドライブで読み出すことができます。

参照 **Easy CD Creatorの使いかたについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」**

チェック!! **ご利用になるときは、必ずAdministrator権限を持つ半角英数字のユーザー名でログインしてください。**

Acrobat Reader

PDF形式のファイルを表示したり印刷したりすることができます。

このパソコンに添付のアプリケーションの中には、ヘルプなどを参照するときにAcrobat Readerが必要なものがあります。

チェック!! **新規作成ユーザの場合、初回起動時に言語選択の画面が表示されます。リストから「日本語」を選択してください。また、「ファイルXXXが見つかりません」という画面が表示された場合は「OK」ボタンをクリックしてください。**

マニュアルCD-ROM

添付の「マニュアルCD-ROM」をCD-ROMドライブまたはCD-R/RWドライブにセットすると、『活用ガイド ハードウェア編』『活用ガイド ソフトウェア編』『環境ガイド(ハイスペックノート、モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)のみ)』などのマニュアルを画面上で見ることができます。

「マニュアルCD-ROM」を見るには、あらかじめAcrobat Readerをインストールしておく必要があります。

VirusScan

チェック!!

- **フロッピーディスクドライブが外付けのモデルでフロッピーディスクドライブを接続していない場合は、「システムスキャンプロパティ」を表示して「スキャン」タブをクリックし、「フロッピーのスキャン」の「シャットダウン」のチェックをはずしてください。フロッピーディスクドライブを接続していないときにフロッピーディスクのスキャンを行うと、シャットダウンに時間がかかり、正常にシャットダウンしない場合があります。**
- **本機に添付のVirusScanではエマージェンシーディスクの作成はできません。**

◎ 定期的にウイルス検査を行う

VirusScanには、定期的にウイルス検査を行う機能があります。この機能を使うには、次の手順でVirusScanコンソールを起動します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」の「VirusScan コンソール」をクリックする

プログラムが起動します。

2 **定期検査用のタスクを作成する**

タスクの作成方法は、オンラインヘルプをご覧ください。

◎ VirusScanの設定

◆システムスキャンを有効にする

VirusScanには、Windows上で操作するファイルがウイルスに汚染されていないか監視する機能があります。システムスキャンを有効にすると、ファイルをアクセスするたびにウイルスチェックを行うようになります。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」の「VirusScan コンソール」をクリックする**

2 **タスクの一覧の「VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックする**

「タスクのプロパティ」が起動します。

3 **「タスクのプロパティ」の「プログラム」タブの「設定」ボタンをクリックする**

「システム スキャン プロパティ」が起動します。

4 **「システム スキャン プロパティ」の「スキャン」タブの「システム スキャンを有効」をクリックし、チェックを付ける**

5 **「システム スキャン プロパティ」の「OK」ボタンをクリックする**

6 **「VShield コンフィグレーション マネジャ」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

7 **「タスクのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックする**

8 **「VirusScan コンソール」画面を閉じる**

9 **本機を再起動する**

◆システムスキャンを無効にする

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Network Associates」の「VirusScan コンソール」をクリックする**

2 **タスクの一覧の「VShield」を右クリックし、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックする**
「タスクのプロパティ」が起動します。

3 **「タスクのプロパティ」の「プログラム」タブの「設定」ボタンをクリックする**
「システム スキャン プロパティ」が起動します。

4 **「システム スキャン プロパティ」の「スキャン」タブの「システムスキャンを有効」をクリックし、□にする**

5 **「システム スキャン プロパティ」の「OK」ボタンをクリックする**

6 **「VShield コンフィグレーション マネジャ」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

7 **「タスクのプロパティ」の「OK」ボタンをクリックする**

8 **「VirusScan コンソール」画面を閉じる**

9 **本機を再起動する**

CyberAccess

◎ CyberAccessの機能

CyberAccessは、個人または会社の管理者が「モード」を作成してシステム設定ツールへのアクセスを限定し、ドライブやフォルダ、ファイルを隠し、デスクトップを単純化および、操作可能なアプリケーションを限定することができるアプリケーションです。使用者のレベルに合わせて機能を制限できるので、システムへ影響を与えてしまうような操作を未然に防ぐことができます。また、ログインするユーザ別にモードを対応付けることができるので、複数のモードを使い分けることができます。

◆モード

CyberAccessをインストールすると、次のモードを利用することができます。

モード	機能
エキスパートモード	CyberAccessのすべての機能を利用することができます。
アドバンストモード※	コンピュータのシステムのすべてを利用することができます。モードの作成、編集など、CyberAccessの設定を変更することはできません。
ベーシックモード※	システムへ影響を与える機能の動作を制限し、コンピュータのハードウェアやソフトウェアへの予期しないダメージを防ぎます。
セキュリティモード	CyberAccessで設定することができるすべての機能制限が設定されます。
新規作成モード	CyberAccessインストール後、新規に作成するモードです。新規にモードを作成するためには、エキスパートモードで起動する必要があります。

※ CyberAccessをインストールするときに「カスタム」セットアップを行うことで、このモードを利用するかどうかを選択することができます。「標準」セットアップを行った場合は、このモードを利用することはできません。セットアップについて詳しくは、PART2の「追加のしかた」の「CyberAccess」(→p.47)をご覧ください。

◆新規モードの作成

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを作成します。ここで作成したモードはローカルPCに保存されます。

チェック!! ネットワークを利用した集中管理を行うには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする

次の画面が表示されます。



2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

3 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする**

「CyberAccess ローカルのプロパティ」が表示されます。

4 **「モード」タブをクリックする**

5 **「新規作成」ボタンをクリックする**

モード作成ウィザードが起動します。

6 **新規作成するモード名を入力する**

7 **「モードアクセスをパスワードで確認」にチェックし、パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする**

8 **モードに設定する制限項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする**

9 **モードに設定する単純化項目を選択して「次へ」ボタンをクリックする**

10 **ドライブを隠す場合は、隠すドライブの□をクリックして☑にする**

すべてのドライブを隠す場合は「全てのドライブを隠す」を☑にします。

11 **ファイル／フォルダを隠す場合は、「追加」ボタンをクリックする**

フォルダとファイルのどちらを隠すかというドロップダウンメニューが表示されたら、「フォルダ」か「ファイル」のどちらかを選んでください。

12 **ドライブ／ファイルを隠す設定が終了したら「次へ」ボタンをクリックする**

13 **アプリケーションの利用制限を行う場合は「下記のプログラムのみ使用可能」にチェックし、「追加」ボタンをクリックして利用させるアプリケーションを設定する**

アプリケーションの利用制限を行わない場合はこの操作は不要です。

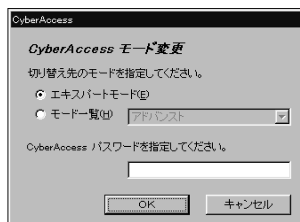
14 **設定が完了したら「完了」ボタンをクリックする**

◆モードの編集

作成したモードを編集します。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする

次の画面が表示されます。



2 「エキスパートモード」をクリックし、「OK」ボタンをクリックする

システムからログオフし、エキスパートモードに切り替わります。

3 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「利用環境の設定」をクリックする

「CyberAccessローカルのプロパティ」が表示されます。

4 「モード」タブをクリックする

5 「CyberAccess　モード」一覧から、編集するモードをクリックし、「編集」ボタンをクリックする

「ローカルモードのプロパティ」が表示されます。

6 編集内容にしたがって、各タブをクリックし、項目を変更する

各項目の設定については、「新規モードの作成」の手順6〜13(→p.27)を参照してください。

7 「OK」ボタンをクリックする

◆モードの切り替え

使用環境や使用ユーザに合わせてモードを切り替えます。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」で「モードの変更」をクリックする



2 「モード一覧」をクリックする

3 ▼ をクリックし、切り替えるモードをクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

システムがログオフし、モードが切り替わります。

> CyberAccessには、任意のドライブやフォルダ、ファイルを隠す機能や、エキスパートモードへのアクセスを制限するセキュリティ機能や、起動時のモードを指定できる機能などもあります。詳しくは、「スタート」ボタン→「プログラム」→「CyberAccess」の「CyberAccess ヘルプ」をご覧ください。

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、管理方法として、標準化団体DMTF(Distributed Management Task Force)が規定したDMI(Desktop Management Interface)を採用しています。
- 使用しているコンピュータがネットワークに接続されている場合は、定期的にパケットが送信されることがあります。パケットを送信したくない場合は、注意が必要です。詳しくは、オンラインヘルプをご覧ください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、起動に3分程度かかります。各種機能(「このコンピュータを管理する」、「DMITOOL互換」など)を使用する場合は、OS起動後しばらく待ってからこれらの機能をご使用ください。Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)を削除する場合も、OS起動後しばらく待ってから行ってください。

◎ Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の機能

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)は、以下の機能により構成されています。

・Webブラウザによる情報表示

・システムビューアによる情報表示

操作方法や表示画面については、オンラインヘルプ、ユーザーズガイド、リリースノートおよび「ご使用になる前に」(Readme.txt)をご覧ください。

◎ NEC拡張機能とは

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)に対して、NEC独自に拡張した機能です。
拡張した機能には、次のようなものがあります。

＊1 標準状態でインストールされます。
＊2 標準状態でインストールされません。
＊3 「DMITOOL互換画面」を選択すると、自動的にインストールされます。インストールしたくない場合は、「DMITOOL互換画面」のチェックボックスのチェックを外してください。

インストールする機能を追加／削除するためには、「NEC拡張機能」を選んで「変更」ボタンをクリックしてください。

◆ DMITOOL互換画面 *1

DMITOOL互換のユーザインターフェイス(システムビューワ、MIFブラウザ、SMBIOSブラウザ、資産管理ブラウザ)を使用可能にします。

◆ USB接続デバイス一覧 *1 *3

USBに接続されているデバイスの一覧を表示可能にします。

◆ モデム一覧 *1 *3

Windowsにセットアップされているモデムの一覧を表示可能にします。

◆ プリンタ一覧／プリンタ監視 *1 *3

接続されているプリンタの一覧表示と、プリンタの状態監視を可能にします。

◆ 拡張資産管理 *1 *3

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の資産管理機能に、リース情報／棚卸し管理を追加し、リース／棚卸し管理を可能にします。

◆H/W変更監視 *2

HDD/CPU/メモリが変更された場合に、警告を表示する機能を提供します。

◆TOOL連携 *2

コンピュータの異常を検出したときに、バックアップツールなどの起動やシステムのシャットダウンを行う機能を提供します。
連携するツールは、インストールするOSに合わせて標準で設定されていますが、標準の設定から変更する場合は、インストール後、「NEC Extensionsリリースノート」の「TOOL連携について」を参照してください。

◆SMBIOS情報 *2

SMBIOS情報を管理者などの他のコンピュータから参照可能にする場合は、このコンポーネントをインストールしてください。

Masty Data Backup

“ハードディスクが突然クラッシュ”このときの損害は計り知れないものがあります。そのため、データのバックアップは不可欠です。Masty Data Backupは、このような万が一の事態にもデータを保全し、お客様の損害を未然に防ぐツールです。
Masty Data Backupには次のような機能があります。

- OSがサポートしている装置(MO、PD、ハードディスクなど)にデータをバックアップできます。
- 日付/曜日/時間を指定すれば、好きな時に自動実行するスケジューリングができます。
- データの圧縮を行いながらバックアップができます。
- 複数枚の媒体に分けてバックアップができます。
- 世代管理ができます。
- S.M.A.R.T機能を利用したバックアップができます。

pcAnywhere 9.2 EX

- 本機に添付されているpcAnywhere 9.2 EXを使用して、他のパソコンを操作することはできません。
- 接続デバイスは、SPX、NetBIOS、Banyan VINES、TCP/IPが設定できます。

・他のパソコンから本機を操作するには、相手側のパソコンに別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」または「pcAnywhere」(Symantec社製)がインストールされている必要があります。機能説明や使用方法についても、別売の「DMITOOL Ver8.1(pcAnywhere™ 9.0 EX コンプリート版付)」などのマニュアルをご覧ください。

PGP Personal Privacy

PGPは、ファイルを暗号化および復号化するツールです。

・PGPは、公開鍵暗号方式を使用しています。

・PGPをインストールすると、「マイコンピュータ」や「エクスプローラ」のファイルメニューにコマンドが追加されます。

・共有パスワードでファイルを暗号化し、共有することができます。

・Eメールアプリケーションと連携し、メールメッセージを暗号化して送信することができます。この場合、メールを受信するパソコンにもPGPがインストールされている必要があります。

・自己復号アーカイブを使用すると、PGPを持っていないユーザに暗号化ファイルを送信することができます。この場合、共通のパスワードを事前に設定しておく必要があります。

参照 **PGPの操作方法について→「スタート」ボタン→「プログラム」→「PGP」→「ドキュメント」→「PGPユーザーズガイド」**

**チェック!!**

・メールの件名は暗号化されません。件名のみを記載したメールを暗号化して送信しようとするとエラーメッセージが表示されますので、通常のメールとして送信してください。

・「暗号化オプション」で「コンベンショナル暗号」または「自己復号アーカイブ」を選択して暗号化した場合、進捗を表示するバーの表示や作成されたファイルのアイコンが正しく表示されない場合がありますが、運用上は問題ありません。

・Outlook Expressをお使いの場合、「PGPオプション」の画面の「Eメール」タブにある「自動的に復号化/検証の確認」が☑になっていると、暗号化されたメールを復号化するときに「PGPエラー」が頻繁に発生することがあります。エラーメッセージが表示されたときは、PGPトレイおよびOutlook Expressを再起動するか、本機を再起動してください。

- **「空き領域の完全削除」を行う場合、空き領域の容量によっては時間がかかることがあります。**
- **鍵作成時ユーザ名に日本語を使うことはできません。**
- **鍵生成ウィザードで「今すぐデフォルトサーバに鍵を送信する」を選択した場合、公開鍵をインターネット上のサーバに転送しますので、インターネットに接続できる環境が必要です。**
- **フォルダ単位での暗号化はできません。フォルダを選択し暗号化を行った場合、フォルダ内のファイルのみが暗号化されます。**
- **ショートカットファイルの暗号化を行うと、ショートカットファイルのリンク先のファイルが暗号化されます。ただし、ショートカットファイルを「PGPツール」の「暗号化」ボタンにドラッグしたまま移動させ暗号化を行った場合は、ショートカットファイルが暗号化されますが、リンク先のファイルは暗号化されません。**
- **暗号化して送信するメールは、テキスト形式で作成してください。HTML形式では正しく送信できないことがあります。また、HTML形式で受信したメールは復号化できないことがあります。**

> 日本ネットワークアソシエイツ社のホームページには、PGPに関する最新情報が掲載されています。下記のアドレスからプリインストールユーザ向けのホームページにアクセスしてください。
> **http://www.nai.com/japan/pgp/**

自動メール受信ユーティリティ

自動メール受信ユーティリティは、コンパクトオールインワンノートとモバイルノート(ベイ内蔵型を除く)にプリインストールされています。
メールの受信方法を自動受信に設定すると、パソコンから離れて何か別なことをしている間に自動的にメールを受信することができます。

◎ 自動受信の設定を行う

ここでは、おもにOutlook Expressを使用してメールを自動受信するための手順を説明します。その他のメールソフトを使用したい場合は、メールソフトが次の機能に対応しているか確認し、設定をしておいてください。

- 自動受信(メールソフト起動時に自動受信する)
- 接続設定が行える
- 受信後に回線切断できる



チェック!!

- **Outlook Expressでメールの自動受信を行うには、あらかじめOutlook Expressでメールの送受信が行えるように設定しておく必要があります。この時「ユーザーの管理」機能を使用するとメールの自動受信は行えません。**
- **Outlook Expressの場合、初回および2回目起動時と、はじめてメールを送受信したときにキー入力を必要とするため、自動受信がうまく行えない場合があります。必ず2回以上、送受信テストを行ってから利用してください。**
- **自動受信を行うには、Outlook Expressで自動切断の設定が必要です。また、自動切断の設定直後には必ずWindowsの再起動を行ってください。**
- **自動メール受信ユーティリティをお使いになる場合には、ご使用になるプロバイダのメールサーバがPOP3プロトコルに対応している必要があります。**

◆メール着信ランプについて

自動受信の設定をしていると、「メール着信ランプ」( )を見るだけで、自分宛のメールが届いているかどうかを確認することができます。この機能を利用すると、メール着信の確認のためだけにインターネットに接続する必要がなくなります。

メールが届いていると、メール着信ランプが緑色に点灯します。

◎ 自動メール受信ユーティリティの設定をする

◆自動メール受信ユーティリティを始める

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする**

「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 **「メールの自動受信を行う」の左の をクリックする**

 が緑色に変わり、メッセージの画面が表示されます。

すでに が緑色になっている場合は、設定ができる状態です。

3 **「OK」ボタンをクリックして、メッセージの画面を閉じる**

これで、自動メール受信ユーティリティの設定を始めることができます。

次の手順で、メールパスワードを設定してください。

◆メールパスワードを設定する

1 **「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「受信設定」ボタンをクリックする**

「受信設定」の画面が表示されます。

2 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「メールパスワード」を入力する

 チェック!!

- ここで入力するパスワードは、メールサーバに接続するときに使うパスワードです。
- パスワードの入力では、入力した文字がすべて「*」で表示されるので、画面上では確認できませんが、必ず半角で、大文字と小文字を区別して入力してください。

3 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順2と同じ「メールパスワード」を入力する

4 「OK」ボタンをクリックする

これでメールパスワードの設定ができました。
続けて、自動受信する日時を設定してください。

◆自動受信する日時を設定する

1 「自動メール受信ユーティリティ」の画面で「毎日」「平日」「カスタム」のいずれかの◯をクリックする

◯が緑色に変わります。

2 「設定時間1」で受信したい時刻を選ぶ

3 「OK」ボタンをクリックする

「パスワード入力」画面が表示されます。

4 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「Windows 2000のログオンパスワード」を入力する

5 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順4と同じ「ログオンパスワード」を入力し、「はい」ボタンをクリックする

これで、自動受信の設定は終了です。

 チェック!!

- インターネット接続用のパスワードが保存されていないと、メールの自動受信は行えません。
- パスワードには、大文字／小文字／全角／半角の区別がありますので、間違えないように入力してください。

◎ メールを自動受信する前に

メールを自動受信するときには、設定した時刻に本機の電源が入っている状態にしておく必要があります。しばらくパソコンから離れている間に受信する場合などは、本機をスタンバイ状態(サスペンド)にしておくことをおすすめします。また、Outlook Expressなど自動受信するためのメールソフトは終了しておいてください。

参照 **スタンバイ状態(サスペンド)にする→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 2000の場合)」**

◎ メールを自動受信する

メールを自動受信している間は、画面が自動的に表示されて、次々に画面が切り替わります。すべて自動的に行われるので、操作の必要はありません。

チェック!! **自動受信するためのメールソフトが起動している状態では自動受信は行えません。**

◆「自動メール受信の実行中にエラーが発生しました。」と表示された場合

自動受信が正しく行われなかった場合は、エラーメッセージが表示されます。この場合は、次のような原因が考えられますので、エラーメッセージの画面を閉じて、設定を確認してください。

- ・メールパスワードの入力に誤りがあった
- ・インターネット接続用のパスワードが保存されていなかった
- ・メールの自動受信を行う前に、メールソフトを終了していなかった
- ・メールソフトにメールパスワードが保存されていなかった
- ・メールソフトに複数のアカウントが登録されていた
- ・Windows 2000のログオンパスワードの入力に誤りがあった

◎ メールが受信されたら

Outlook Expressを自動受信するメールソフトに設定している場合は、メールを受信するとメール着信ランプが点灯します。Outlook Express以外のメールソフトをご利用の場合には、「新しいメールが到着しています。」というメッセージが表示されます。受信したメールは、メールソフトを起動して読みます。

◎ メールの自動受信の設定を解除するには

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「自動メール受信ユーティリティ」→「自動メール受信ユーティリティ」をクリックする

「自動メール受信ユーティリティ」の画面が表示されます。

2 「メールの自動受信を行う」の左の（緑色）をクリックする

が灰色に変わります。

3 「OK」ボタンをクリックする

「パスワード入力」画面が表示されます。

4 「パスワード入力」の入力欄をクリックし、「Windows 2000のログオンパスワード」を入力する

5 「入力確認用」の入力欄をクリックし、手順4と同じ「ログオンパスワード」を入力し、「はい」ボタンをクリックする

これで自動受信の設定が解除されました。

ワンタッチスタートボタンの設定

ワンタッチスタートボタンの設定は、ハイスペックノート以外の各機種にプリインストールされています。

ワンタッチスタートボタンを使うと、ボタンを押すだけでアプリケーションを起動することができます。

チェック!! アプリケーションを起動するには、あらかじめ設定が必要です。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「ワンタッチスタートボタン」をご覧ください。

PART

2

添付アプリケーションの追加と削除

添付アプリケーションを追加したり削除したりする方法を説明しています。

追加の前に

次のような場合に、アプリケーションを追加する方法を説明しています。

- **添付のCD-ROMに入っているアプリケーションを追加する場合**
- **標準でインストールされているアプリケーション、または添付のCD-ROMから追加したアプリケーションを削除した後、再追加する場合**

追加するときの注意

- CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、アプリケーションを追加するには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。

- ここでは、CD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。

- 「C:¥Program Files」や「C:¥WINNT」などのシステムが使用しているフォルダ直下には、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。

- CD-ROMを使用して追加した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

- アプリケーションによっては、インストール後の再起動時にDLL初期化のエラーメッセージが表示されることがありますが、動作上は問題ありません。

- 機種によっては「アプリケーションの追加」画面のリストボックスに「Intellisync(Windows NT 4.0のみ)」が表示されますが、Windows 2000ではご使用になれません。

追加の準備

添付の「アプリケーションCD-ROM」を使用してアプリケーションを追加する場合は、次の手順を行ってください。
なお、一部の添付アプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

1 **CD-ROMドライブに、添付の「アプリケーションCD-ROM」をセットする**

2 **「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

3 **「プログラムの追加」ボタンをクリックする**

4 **「CDまたはフロッピー」ボタンをクリックする**

5 **「フロッピーディスクまたはCD-ROMからのインストール」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

6 **ボックス内に「E:¥NXSETUP.EXE」と表示されているのを確認し、「完了」ボタンをクリックする**

「PC98-NX シリーズ アプリケーション CD-ROM セットアップユーティリティ」のセットアップ画面が表示されます。

チェック!! **ここではCD-ROMドライブをEドライブとして説明しています。実際と異なる場合は、ドライブ名を読み替えてください。**

ここから先は、アプリケーションによって手順が異なります。p.43からの「追加のしかた」の各アプリケーションでの操作手順をご覧ください。

「Service Pack1」について

本機には「Microsoft Windows 2000 Service Pack 1」(以下Service Pack 1)が添付されています。
Service Pack 1は、Windows 2000の出荷以降に発見された問題を改善および修正するための更新プログラムを集めたものです。
必要に応じ、次の手順でインストールしてください。

1 **CD-ROMドライブに、添付の「Service Pack 1」CD-ROMをセットする**

2 「Microsoft Windows 2000 Service Pack 1」の画面が表示されたら「ReadMeSP.htm」をクリックする

チェック!! 「Microsoft Windows 2000 Service Pack 1」の画面が表示されない場合はエクスプローラを起動し、「Service Pack 1」CD-ROM内の「ReadMeSP.htm」をダブルクリックしてください。

3 「Service Pack 1 リリース ノート(ReadMeSP.htm)」の「2.0 Service Packをインストールする」に記載されている手順にしたがい、インストールを行う

- 「Service Pack 1」の最新情報については、下記のホームページをご覧ください。
  http://www.microsoft.com/japan/windows2000/downloads/recommended/sp1/
- 「Service Pack 1」をインストールしたあとで本機を再セットアップすると、「Service Pack 1」は削除されます。必要に応じ、再度「Service Pack 1」をインストールしてください。
- 「Service Pack 1」をアンインストールする場合は、上記の手順1～2の操作を行い、「Service Pack 1 リリース ノート(ReadMeSP.htm)」の「3.0 Service Pack 1をアンインストールする」をご覧ください。

追加のしかた

アプリケーションを追加する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Personalは次のアプリケーションで構成されています。

- Excel 2000(表計算ソフト)
- Word 2000(ワープロソフト)
- Outlook 2000(メール/スケジュール管理ソフト)

Office 2000 Personalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。
追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Personalの再セットアップ(Office 2000 Personalモデルのみ)」をご覧ください。
また、Bookshelf Basicの追加は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、CD-ROMに添付のマニュアルをご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明はOffice 2000 Professionalモデルのみを対象としています。
Office 2000 Professionalは次のアプリケーションで構成されています。

- Excel 2000(表計算ソフト)
- Word 2000(ワープロソフト)
- Outlook 2000(メール/スケジュール管理ソフト)
- PowerPoint 2000(プレゼンテーション資料作成ソフト)
- Access 2000(データベース管理ソフト)
- Publisher 2000(DTPソフト)
- 顧客データマネージャ 2000(顧客情報管理ソフト)
- Business Planner(ビジネス情報検索ソフト)

Office 2000 Professionalをまとめて追加することも、各アプリケーションごとに追加することもできます。
追加のしかたについては、『活用ガイド 再セットアップ編』の「Office 2000 Professionalの再セットアップ(Office 2000 Professionalモデルのみ)」をご覧ください。

インターネット設定切替ツール

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1〜6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「インターネット設定切替ツール」を選び、「インストール」ボタンをクリックする**

3 **「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**
ファイルのコピーが始まります。

5 **「セットアップの完了」画面が表示されたら、Readmeを読む場合はそのまま「完了」ボタンを、読まない場合は「Readmeファイルを読む。」のチェックを外してから、「完了」ボタンをクリックする**
Readmeファイルを読み終わったら、ウィンドウ右上の ☒ をクリックして閉じてください。
本機が再起動します。

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCDとEasy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

チェック!!

- **CD-RW書き込みソフトを追加するときは、「Easy CD Creator」と「DirectCD」を両方とも追加してください。**
- **CD-RW書き込みソフトを追加するときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。**
- **追加の際には、管理者権限の半角英数字のユーザー名でログオンしてください。**

1 「Easy CD Creator™ 4 Standard/DirectCD™ 3 CD-ROM」をCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブにセットする

「Master Setup」の画面が表示されます。表示されない場合は、デスクトップの「マイコンピュータ」をダブルクリックし、表示された画面でCD-R/RWドライブまたはCD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 一覧から「Easy CD Creator」をクリックする

3 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

4 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

5 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

6 「セットアップの完了」画面で「完了」ボタンをクリックする


チェック!! Acrobat Readerをインストールしていない場合、続けてAcrobat Readerのインストールを行うかどうか選択する画面が表示されます。ここでは「いいえ」ボタンをクリックしてください。

7 一覧から「DirectCD」をクリックする

8 「DirectCD」画面で「はい」ボタンをクリックする

9 「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする

10 「製品ライセンス契約」画面で契約内容をよく読み、同意する場合は「はい」ボタンをクリックする

11 「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

12 「プログラムフォルダの選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする

セットアップが始まります。

セットアップ終了後、最初に表示された「Master Setup」の画面が表示されます。

13 **「終了」ボタンをクリックする**

14 **「セットアップの完了」画面で「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」が選択されていることを確認し、「終了」ボタンをクリックする**

本機が再起動します。

チェック!! **本機が再起動するまで、CD-ROMを取り出さないでください。**

15 **インジケータ領域(タスクトレイ)の「Adaptec CreateCD」を右クリックし、「CreateCDを無効にする」をクリックする**

16 **「Adaptec CreateCD」画面で「はい」ボタンをクリックする**

Acrobat Reader

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1〜6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Acrobat Reader」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする**

3 **「Acrobat Reader 4.05 のセットアップ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

5 **「情報」画面で「OK」ボタンをクリックする**

VirusScan

チェック!! **VirusScanの追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。**

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1〜6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「VirusScan」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする**

インストールには数分かかります。

チェック!! **コマンド入力後、キーボードなどに触れないようにしてください。**

追加後はシステムスキャンが有効になっています。システムスキャンを解除するには、「システムスキャンを無効にする」(→p.25)をご覧ください。

参照 **インストールについて詳しくは→「アプリケーションCD-ROM」の¥Virus¥Readme.TXT**

CyberAccess

チェック!! **「C:¥Program Files」や「C:¥WINNT」などのシステムが使用しているフォルダ直下には、アプリケーションのファイルを直接インストールしないでください。**

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1〜6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「CyberAccess」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする**

3 **「CyberAccess セットアッププログラムへようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先ディレクトリを選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

5 **「CyberAccess」画面でセットアップ方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックする**

「標準」または「カスタム」のどちらかにチェックを付けてください。

CyberAccessをセットアップするときには、次の項目を設定します。「標準」に設定すると自動的にセットアップが行われます。

・利用できるモード

新規に作成しなくても、あらかじめ準備されているモードのことです。インストール後、「利用環境の設定」から登録することによって利用することができます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード、セキュリティモード
カスタム	エキスパートモード、セキュリティモード （上記のほかに、アドバンストモード、ベーシックモードを追加選択可能）

・標準起動モード

特定のモードに対応付けられていないユーザ名でログインしたときなどに起動するモードです。モードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	エキスパートモード
カスタム	任意のモードを設定可能※

※下記の手順6で選択したモードの中から選択できます。

・エキスパートパスワードの設定

エキスパートモード（CyberAccessを設定可能な管理者モード）のパスワードです。設定することにより、不正なアクセスやCyberAccessの設定変更などを防ぐことができます。パスワードはセットアップ後に変更することもできます。

セットアップ方法	設定値
標準	manager
カスタム	任意の文字列に変更可能 （初期値はmanager）

以降、手順6〜9は「カスタム」を選択した時の手順です。「標準」を選択すると、自動的に設定が行われますので、手順10に進んでください。

6 セットアップ時に自動的に作成するモードを選択して「次へ」ボタンをクリックする

7 手順6で選択したモードの中から「標準起動モード」を選択して「次へ」ボタンをクリックする

8 「エキスパートパスワードの設定」を設定して「次へ」ボタンをクリックする

9 **「CyberAccess サーバ名の入力」欄には何も入力せず、「ネットワークモードをダウンロードしない」にチェックをつけて「次へ」ボタンをクリックする**

この項目は、ネットワークを利用した集中管理を行うためのものです。集中管理を行うためには、別売の「CyberAccess Ver3.0」が必要です。

10 **「セットアップ開始」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

11 **「セットアップ完了」画面で「CyberAccess のセットアップに成功しました。」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする**

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)


チェック!!

- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の追加は、Administrator権限でログオンして行ってください。
- Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)を動作させるためには、ネットワークの設定が行われており、TCP/IPプロトコルがインストールされている必要があります。まだ、TCP/IPプロトコルがインストールされていない場合は、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)をインストールする前に、TCP/IPプロトコルのインストールを行ってください。
- TCP/IPの設定を行う前に、Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)をインストールした場合、起動時にイベントビューアにエラーが記録される場合がありますが問題ありません。TCP/IPをインストールすると正しく動作するようになります。

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1～6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Intel(R) LANDesk(R) Client Manager 6(NEC Extension)」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする**

3 **「ようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「製品ライセンス契約」画面が表示されたら、契約内容を確認し「はい」ボタンをクリックする**

5 **「インストール先の選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

6 **「コンポーネントの選択」画面が表示されたら、インストールするコンポーネントを選択し、「次へ」ボタンをクリックする**

7 **「プログラムフォルダの選択」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリックする**

8 **「ユーザの追加」画面が表示されたら、任意のユーザ名／パスワードを入力して「次へ」ボタンをクリックする**

プログラムのインストールが始まります。

インストール中に「警告」の画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックしてください。

9 **「セットアップの完了」画面が表示されたら、「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択し、「完了」ボタンをクリックする**

フロッピーディスクドライブにディスクがセットされている場合は、ディスクを取り出してから「完了」ボタンをクリックしてください。
本機が再起動します。

Masty Data Backup

1 **「追加の準備」****(→p.41)****の手順1〜6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「Masty Data Backup/F」を選択し「インストール」ボタンをクリックする**

3 **「ようこそ」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

4 **「インストール先の選択」画面で「次へ」ボタンをクリックする**

ファイルのコピーが始まります。

> ほかのアプリケーションが起動している場合、インストールの途中でそれらのアプリケーションのウィンドウが前面に表示されることがあります。このような場合は、それらのウィンドウを最小化すると「セットアップの完了」ウィンドウが表示されます。

5 「セットアップ完了」画面が表示されたら、Readmeを読まない場合はそのまま「完了」ボタンを、読む場合は「Readmeファイルを読みます。」のチェックをしてから、「完了」ボタンをクリックする

Readmeファイルを読み終わったら、ウィンドウ右上の[×]をクリックして閉じてください。

pcAnywhere 9.2 EX

1 「追加の準備」（→p.41）の手順1～6を行う

2 「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「pcAnywhere 9.2 EX」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする

3 「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードへようこそ」の画面で「次へ」ボタンをクリックする

「使用許諾契約」が表示されます。

4 内容をよく読み、同意のうえ、「使用許諾契約の条項に同意します」を◉にして「次へ」ボタンをクリックする

「ユーザ情報」が表示されます。

5 ユーザ名と所属を入力して「次へ」ボタンをクリックする

「プログラムをインストールする準備ができました」と表示されます。

6 「インストール」ボタンをクリックする

ファイルのコピーが始まります。

7 「pcAnywhere 9.2 EXセットアップウィザードを完了しています」と表示されたら「完了」ボタンをクリックする

「pcAnywhere 9.2 EXのインストーラ情報」のメッセージが表示されます。

8 「はい」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

PGP Personal Privacy

1 **「追加の準備」(→p.41)の手順1～6を行う**

2 **「アプリケーションの追加」画面のリストボックスから「PGP」を選択し、「インストール」ボタンをクリックする**

「ようこそ」の画面が表示されます。

3 **「次へ」ボタンをクリックする**

「製品ライセンス契約」の画面が表示されます。

4 **画面の内容をよく読み、「はい」ボタンをクリックする**

「重要な情報」の画面が表示されます。

5 **画面の内容をよく読み、「次へ」ボタンをクリックする**

「ユーザの情報」の画面が表示されます。

6 **名前と会社名を入力し、「次へ」ボタンをクリックする**

「インストール先の選択」の画面が表示されます。

インストール先フォルダを変更する場合は、「参照」ボタンをクリックし、「ディレクトリの選択」の画面からインストールしたいフォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。

7 **「次へ」ボタンをクリックする**

「コンポーネントの選択」の画面が表示されます。

8 **インストールするコンポーネントを選択し「次へ」ボタンをクリックする**

「ファイルをコピーする準備ができました」の画面が表示されます。

9 **「次へ」ボタンをクリックする**

インストールが始まります。

しばらくすると、「鍵リング」の画面が表示されます。

10 「いいえ」ボタンをクリックする

はじめてPGPをインストールする場合や「鍵リング」が無い場合は「いいえ」ボタンをクリックしてください。
作成済みの「鍵リング」を使用する場合は「はい」ボタンをクリックし、「鍵リング」が保存されている場所を指定してください。

「セットアップの完了」の画面が表示されます。

11 「PGP鍵の起動」のチェックをはずして「完了」ボタンをクリックし、本機を再起動する

「はい、ただちにコンピュータを再起動します」と表示された場合は、「完了」ボタンをクリックします。
自動的に本機が再起動します。

削除の前に

添付のアプリケーションの削除に関する注意事項を説明しています。

削除するときの注意

・アプリケーションを削除する場合は、ご利用にならないことをよくご確認のうえ、削除してください。
・インターネットエクスプローラを削除することはできません。
・CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれも内蔵または添付されていないモデルの場合、削除したアプリケーションを再度追加するためには、CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのいずれかが必要です。
・ここではCD-ROMドライブを使用した場合の説明が記載されています。お使いの機種により「CD-ROMドライブ」を「CD-R/RWドライブ」「CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」に読み替えてください。
・ご自分でインストールされたアプリケーションの削除については、そのアプリケーションに添付されたマニュアルをご覧ください。
・ハードディスクの空き領域を増やしたい場合は、不要なアプリケーションを削除することによって空き領域を増やすことができます。
・アイコンを削除する場合は、次のページの「アイコン削除の準備」を行ってから削除します。
・CD-ROMを使用して削除した場合は、終了後にCD-ROMをCD-ROMドライブから取り出してください。

削除の準備

コントロールパネルを使ってアプリケーションを削除する場合は、次の手順を行ってください。
CD-ROMを使用する場合と、アプリケーションのアンインストール機能を使う場合は必要ありません。
なお、一部の添付アプリケーションでは以下の手順は必要ありません。

1 **「コントロールパネル」を開き、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックする**

2 **「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックする**

削除の作業中に、メッセージのウィンドウが他のウィンドウに隠れてしまった場合は、タスクバーにあるそのメッセージウィンドウのボタンをクリックして、最前面に表示してください。

削除したとき、アプリケーションによってはフォルダやデスクトップ、「スタート」メニューにショートカットが残る場合があります。その状態でも、操作上は支障ありません。

アイコンを削除するには、各アプリケーションの削除方法に従って操作してください。

チェック!!

- **アプリケーションによっては、削除中に「共有ファイルを削除しますか?」、「共有コンポーネント」などの画面が表示される場合があります。このような画面は、インストールされているアプリケーションが共通で使用していると思われるファイルを削除しようとしたときに表示されます。このような画面が表示された場合は、「すべていいえ」や「すべて残す」を選んで、ファイルを削除しないようにしてください。**
- **「コントロールパネル」の「アプリケーションの追加と削除」でアプリケーションを選んで「プログラムの変更と削除」ボタンをクリックした後は、途中で中断しても、そのままではアプリケーションを使用できないことがあります。その場合は、本機を再起動して、アプリケーションを再度インストールしてください。**

アイコン削除の準備

アプリケーションを削除した後、デスクトップに残ったアイコンを削除する場合は、アイコンを削除する前に、次の手順を行ってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「エクスプローラ」をクリックする

2 エクスプローラの「ツール」メニューから「フォルダオプション」をクリックする

3 「表示」タブの「詳細設定」の「ファイルとフォルダの表示」で「すべてのファイルとフォルダを表示する」をクリックする

4 「OK」ボタンをクリックする

この後、各アプリケーションの削除方法でアイコンを削除します。

削除のしかた

アプリケーションを削除する手順を各添付アプリケーションごとに説明しています。

Office 2000 Personal

この説明は、Office 2000 Personalモデルのみを対象としています。

チェック!! **MS-IME2000を削除することはできません。**

◎ Office 2000 Personal の削除

1. **「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う**

2. **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Personal」をクリックして「削除」ボタンをクリックする**

チェック!! **「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。**
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。

3. **「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されたら「はい」ボタンをクリックする**
   削除が始まります。

4. **本機を再起動する**

◎ アイコンの削除

Office 2000 Personalを削除したあと、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。
アイコンは、次の手順で削除することができます。

1. **クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする**
   メニューが表示されます。

2. **「削除」をクリックする**
   「ファイルの削除の確認」が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

また、Bookshelf Basicの削除は、「Office 2000 Personal」に添付の「Microsoft/Shogakukan Bookshelf Basic」CD-ROMを使って行ってください。詳しくは、CD-ROMに添付のマニュアルをご覧ください。

Office 2000 Professional

この説明は、Office 2000 Professionalモデルのみを対象としています。

チェック!! MS-IME2000を削除することはできません。

◎ Word 2000、Excel 2000、Outlook 2000、PowerPoint 2000、Access 2000の削除

1 「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Professional」をクリックして「削除」ボタンをクリックする

チェック!! 「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。

3 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

削除が始まります。

4 本機を再起動する

◎ Publisher 2000、顧客データマネージャ 2000、Business Plannerの削除

1 「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Microsoft Office 2000 SR-1 Disc 2」をクリックし、「削除」ボタンをクリックする

チェック!! 「変更」ボタンをクリックすると、「Microsoft Office 2000 メンテナンス モード」が表示されます。
ここで、個別にアプリケーションを削除することもできます。

3 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

削除が始まります。

4 本機を再起動する

◎ アイコンの削除

Office 2000 Professionalを削除したあと、クイック起動バー上にOutlookの起動アイコンが残る場合があります。
アイコンは次の手順で削除することができます。

1 クイック起動バーにあるOutlookの起動アイコンを右クリックする

メニューが表示されます。

2 「削除」をクリックする

「ファイルの削除の確認」が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

インターネット設定切替ツール

チェック!! インターネット設定切替ツールを起動している場合は、終了させてから削除を行ってください。

1 「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「インターネット設定切替ツール」を選択し、「変更/削除」ボタンをクリックする

3 「'インターネット設定切替ツール'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする

削除が始まります。

4 **「コンピュータからプログラムを削除」画面で「OK」ボタンをクリックする**

5 **本機を再起動する**

DirectCD/Easy CD Creator

この説明は、DirectCD/Easy CD Creatorが添付されているモデルのみを対象としています。

チェック!!
- **CD-RW書き込みソフトを削除するときは、「DirectCD」と「Easy CD Creator」の両方を削除してください。**
- **CD-RW書き込みソフトを削除するときは、必ずAdministrator権限を持つユーザーでログインしてください。**
- **削除の際には、管理者権限の半角英数字のユーザー名でログオンしてください。**

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec DirectCD」→「アンインストール」をクリックする**

2 **「"Adaptec DirectCD"とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**
「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」ボタンをクリックする
DirectCDの削除が始まります。

3 **「アンインストールが完了しました。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

4 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「Adaptec Easy CD Creator 4」→「アンインストール」をクリックする**

5 **「Easy CD Creator 4およびコンポーネントすべてを削除してよろしいですか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**
Easy CD Creatorの削除が始まります。

チェック!! **「共有ファイルを削除しますか?」画面が表示された場合は、「すべていいえ」をクリックしてください。**

6 **「アンインストールが完了しました!」と表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

7 **本機を再起動する**

Acrobat Reader

1 **「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う**

2 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Adobe Acrobat 4.0」をクリックして「削除」ボタンをクリックする**

3 **「‘Adobe Acrobat 4.0’とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。

「共有ファイルを削除しますか?」と表示されたときは「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

4 **「コンピュータからプログラムを削除」画面が表示されたら「OK」ボタンをクリックする**

「アンインストールが完了しましたが、いくつかの項目は削除できませんでした。」と表示された場合は、「詳細...」ボタンをクリックし、画面に表示されているフォルダをエクスプローラなどを使って削除してから「OK」ボタンをクリックしてください。

VirusScan

チェック!! **VirusScanの削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。**

1 **「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う**

2 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「McAfee VirusScan」をクリックして「削除」ボタンをクリックする**

3 **「コンピュータからMcAfee VirusScan を削除しますか?」と表示されたら「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。

4 **本機を再起動する**

チェック!! VirusScanの削除後は、必ず本機を再起動してください。

CyberAccess

1 **「エキスパートモード」以外のモードでお使いの場合は、「エキスパートモード」にする**

2 **「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う**

3 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「CyberAccess」をクリックして、「変更/削除」ボタンをクリックする**

4 **「CyberAccess アプリケーションとその全てのコンポーネントを削除しますか。」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)

チェック!! Intel® LANDesk® Client Manager 6(with NEC Extensions)の削除は、Administrator権限でログオンして行ってください。

1 **起動しているアプリケーションがある場合は、すべて終了させる**

2 **「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う**

3 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)」をクリックし、「変更/削除」ボタンをクリックする**

4 **『Intel LANDesk Client Manager 6(with NEC Extensions)』とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

プログラムの削除が開始されます。

> 共有ファイルの削除を確認する画面が表示された場合、「すべていいえ」ボタンをクリックしてください。

5 **「LDCMのアンインストール」の画面が表示されたら、「はい」ボタンをクリックする**

本機が自動的に再起動します。

Masty Data Backup

1 **「削除の準備」(→p.54)の手順1～2を行う**

2 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「Masty Data Backup/F」を選択し、「変更／削除」ボタンをクリックする**

3 **「'Masty Data Backup/F'とそのすべてのコンポーネントを削除しますか?」と表示されるので、「はい」ボタンをクリックする**

削除が始まります。

4 **「アンインストールが完了しました。」と表示されるので、「OK」ボタンをクリックする**

5 **本機を再起動する**

チェック!!

- アンインストーラ(アンインストールをするプログラム)は、Windowsの登録情報とプログラムファイルを削除します。お客様が作成されたログファイル等は削除しません。このため、アンインストーラがディレクトリの削除に失敗することがあります。この場合には、エクスプローラ、またはファイルマネージャなどを使用して削除してください。
- 再セットアップ時以外にMasty Data Backupにて作成されるファイルはログファイル以外にもいくつかあります。ログファイル以外は全て隠しファイルとなっています。

pcAnywhere 9.2 EX

1 **「削除の準備」(→p.54)の手順1～2を行う**

2 **「現在インストールされているプログラム」の一覧から「pcAnywhere 9.2 EX」をクリックして「削除」ボタンをクリックする**

3 「コンピュータからpcAnywhere 9.2 EXを削除しますか?」と表示されたら、「はい」ボタンをクリックする

ファイルの削除が始まります。
pcAnywhere 9.2 EXの削除画面が消えたら、pcAnywhere 9.2 EXの削除は終了です。
「pcAnywhere 9.2 EXに行った設定変更を有効にするには、システムを再起動する必要があります。」と表示された場合は「はい」ボタンをクリックしてください。

PGP Personal Privacy

1 「削除の準備」(→p.54)の手順1〜2を行う

2 「現在インストールされているプログラム」の一覧から「PGP Personal Privacy 6.5.8J」をクリックし、「変更／削除」ボタンをクリックする

「アンインストールの確認」の画面が表示されます。

3 「はい」ボタンをクリックする

「アンインストール完了」の画面が表示されます。

4 「はい、直ちにコンピュータを再起動します」が☑になっていることを確認し、「完了」ボタンをクリックする

本機が再起動します。

PART

3

パソコンのメンテナンスと管理

パソコンのメンテナンスのしかたやトラブルからパソコンを守るための方法などを説明しています。

パソコンをウイルスから守る

コンピュータウイルスとは

コンピュータウイルスとはプログラムの一種です。ユーザ(使用者)が気づかないうちにシステムに入り込み、異常なメッセージを表示するものや、プログラムやデータの一部を破壊するものなど、さまざまなものがあります。

◎ コンピュータウイルスの種類

コンピュータウイルスは、その感染方法によって次の三種類に分けられます。

◆ ファイル感染型ウイルス

一般に、実行ファイル(拡張子が.EXEや.COM)に感染するタイプのウイルスです。ウイルスに感染したファイルを実行すると、他の実行型ファイルにウイルスプログラムの本体であるウイルスコードを付着させます。

◆ マクロ感染型ウイルス

アプリケーションのマクロ機能を使って作られたウイルスのことです。マクロ機能とは、ワープロや表計算ソフトなどでいくつかの操作をまとめて、データを一括して処理する機能のことです。マクロ感染型ウイルスは、マクロ機能が実行されることで他のデータファイルに感染します。

◆ ブートセクタ型ウイルス

パソコンの起動時に最初に読み込まれるハードディスクやフロッピーディスクの領域をブートセクタ(IPL)といいます。ブートセクタ型ウイルスは、この領域に感染するタイプのウイルスです。本来のブートセクタの内容をウイルス自体と置き換えることにより、コンピュータ起動時にメモリの中に常駐して感染活動を行います。

◎ コンピュータウイルスの感染を防ぐために

ウイルスの感染を少しでも防止するために、次の方法を参考にしてください。

・フロッピーディスクのマスター(オリジナル)は、ライトプロテクト(書き込み防止)をして保管する
・出所が不明なフロッピーディスクやプログラムは使用しない
・マクロ感染型ウイルスのおそれがあるので、出所が不明なワープロや表計算のファイルを開かない

・インターネットからプログラムをダウンロードするときは、直接実行せずいったんディスクに保存し、チェックしてから使用する
・入手したプログラムはウイルス検査を済ませてから使用する
・ウイルスチェックを定期的に行う

本機にはウイルスチェック用プログラムとして「VirusScan」が添付されています。
また、定期的にデータのバックアップを作成しておくことをおすすめします。万一ウイルスに感染してしまった場合にも、ドライブを初期化し、バックアップからデータを復元することで復旧できます。

参照 **バックアップのとり方→このPARTの「データのバックアップをとる」(p.70)**

◎ ウイルスを発見したら

ウイルスを駆除するには、該当ファイルを削除して、アプリケーションを再インストールすることが一番安全で確実な方法です。ただし、発見されたウイルスがブートセクタ型の場合、ブートセクタがウイルスに感染した可能性のある段階ではこの方法は使えません。
また、二次感染を防ぐため、ウイルスが発見されたパソコンで使用した媒体(フロッピーディスクやハードディスクなど)をすべて検査する必要があります。

◎ ウイルスの被害届について

日本では、ウイルスを発見した場合、所定の機関への届出が義務付けられています。届出をしなくても罰則の規定はありませんが、今後の対策や被害状況の把握のためにも積極的な報告をお願いします。

届け出先:情報処理振興事業協会(通称IPA)

本部　〒113-6591
東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコート　センターオフィス16階
IPAセキュリティセンターウイルス対策室
電話　03-5978-7509
FAX　03-5978-7518

ホームページアドレス　http://www.ipa.go.jp/

VirusScanを使ってウイルスを駆除する

VirusScanは、パソコンがウイルスに感染していないかを検査し、万一感染していたときには、それを駆除することができます。
VirusScanが本機にインストールされていない場合は、添付の「アプリケーションCD-ROM」を使ってインストールしてください。

参照 **「VirusScan」のインストール→PART2の「追加のしかた」の「VirusScan」(p.46)**

ウイルスの検査には次の4通りの方法があります。

- VShield
  常にファイルのアクセスを監視し、ウイルスに感染しないように検査します。
- ScreenScan
  スクリーンセーバーの実行中に、ウイルスに感染していないかを検査します。
- VirusScanスケジューラ
  あらかじめ設定した時間に自動的にウイルスに感染していないかをチェックします。
- VirusScan
  その場でウイルスに感染していないかを検査します。

チェック!! **ワクチンソフトのウイルス検索エンジンとウイルスのデータベースファイルは順次更新されます。新種のウイルスが出現することがありますので、これらのファイルは定期的に更新してください。**
詳しくは「新種のウイルスに備える」(→p.69)をご覧ください。

◎ 常に検査する

「VShield」を使うことで、ファイルのアクセス、コピー、実行などを常に監視し、リアルタイムでウイルスの感染を検査することができます。
「VShield」の使いかたについては、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

◎ 定期的に検査する

「VirusScanスケジューラ」で1回、毎時、毎日、毎週、毎月と期間を指定して、自動的にウイルス感染の検査を実行することができます。
「VirusScanスケジューラ」の使い方については、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

◎ すぐに検査する

「VirusScan」は、その場でファイルがウイルスに感染していないかを検査することができます。
外部からファイルを受け取ったときには「VirusScan」を実行して、受け取ったファイルがウイルスに感染していないことを確認してください。
「VirusScan」の使い方については、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

◎ ウイルスを駆除する

ウイルスが発見されたときは、「駆除」をクリックしてウイルスを駆除してください。
詳しい説明は、VirusScanコンソールのヘルプをご覧ください。

◎ 新種のウイルスに備える

本機に添付されているVirusScanでは新種のウイルスを検出できない場合があります。新種のウイルスに対応するため、DATファイルを更新する必要があります。


チェック!!

- **インターネットに接続できる環境(プロバイダに入会済みの場合)では、「VirusScanコンソール」で「DATの自動アップデート」を右クリックして「開始」をクリックすることにより最新版のDATファイルをダウンロードすることができます。**
- **DATファイルの更新だけでは検出できないウイルスが発生する場合があります。その場合は、VirusScanを別途ご購入し、バージョンアップしてください。**

データのバックアップをとる

バックアップとは

ハードディスクなどに保存したファイルやフォルダを誤って消してしまった場合や、ハードディスクの故障など、万一の事態に備えて、フロッピーディスクや外付けハードディスクなどに複製を作ることを「バックアップをとる」といいます。大切なデータを保護するには、定期的なバックアップが有効です。

バックアップが必要なデータ

本機のシステムが故障した場合には、添付の「バックアップ CD-ROM」を利用して購入時の状態に戻すことができます。この作業を「再セットアップ」といいます。
再セットアップを行うと、購入後にインストールしたアプリケーションや、作成した文書やデータ、保存してある電子メールなどはすべて失われます（パスワードを除く）。
再セットアップを行うと失われるデータと元に戻せるデータには、以下のようなものがあります。

	データの一例
再セットアップを行うと失われるデータ	・ワープロの文書 ・入力した伝票のデータ ・購入後にインストールしたアプリケーション※ ・送受信したメール ・メールのアドレス帳 ・インターネットの設定 ・BIOSセットアップメニューの設定
再セットアップを行うと元に戻せるデータ	・Windows(OS) ・添付の「アプリケーションCD-ROM」に入っているアプリケーション（ただし、再セットアップ完了後に再追加が必要）

※インストールに必要なCD-ROMなどをお持ちの場合には、再セットアップ完了後に再追加すると元の状態に戻ります。

参照 **再セットアップ→『活用ガイド 再セットアップ編』**

バックアップをとるタイミング

誤ってデータを消してしまったり、システムが故障するなどの事態は、いつ起こるかわからないので、特に大切なデータは、作成したり更新したりするたびに、バックアップをとってください。

また、日時や曜日を決めて、定期的に必要なデータのバックアップをとることも有効です。

バックアップ先について

データをバックアップするには、データを保存するための記憶媒体(バックアップ先)が必要です。

次の表を参考にバックアップ先となる記憶媒体を選択してください。

バックアップ先	メリット	デメリット
内蔵ハードディスクのDドライブ	・記録スピードが速い ・追加の機器が必要ない ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度)	・ハードディスク自体が故障した場合には、データが失われる
外付けハードディスク	・記録スピードが速い ・容量が非常に大きい(数Gバイト程度) ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・別売の外付けハードディスクやPCカードが必要
CD-RやCD-RW	・持ち運びが可能 ・記録スピードが比較的速い ・容量が大きい(数百Mバイト程度) ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・別売のCD-RやCD-RWとお使いの機種によっては、ディスクを扱えるドライブやPCカードが必要
フロッピーディスク	・持ち運びが可能 ・他の媒体に比べて安い ・内蔵ハードディスクが故障しても影響がない	・容量が小さい(約1.4Mバイト) ・記録スピードが遅い ・別売のフロッピーディスク

※上記の一覧以外にもスーパーディスクなどさまざまな市販の記憶媒体があります。

バックアップの手順

◎ 内蔵ハードディスクのDドライブにバックアップをとる

内蔵のハードディスクは購入時の状態では、Windowsなどのシステムが保存されている「Cドライブ」と、何もデータが入っていない「Dドライブ」に分けられています。
このDドライブにバックアップをとります。
ハードディスク自体は故障していなくても、誤って重要なシステムファイルを削除してしまったり、本機では正常に動作しないアプリケーションをインストールすると、Windowsが起動しなくなる場合があります。
このような場合に「Cドライブのみ FAT32で再セットアップ」で再セットアップを行うと、トラブルを解決できます。この方法では、Cドライブのデータはすべて失われますが(パスワードを除く)、Dドライブのデータは残ります。
そのため、システムの調子がおかしくなった場合には、Dドライブへのバックアップが有効です。また、新しい機器を購入する必要がないため、購入直後からバックアップをとることができます。



Cドライブのみを再セットアップする→『活用ガイド　再セットアップ編』の「カスタム再セットアップ～Cドライブのみ FAT32で再セットアップ」

◎ フロッピーディスクなどにバックアップをとる

Dドライブにバックアップをとった後、フロッピーディスクや外付けハードディスク、CD-R、CD-RWなど、Dドライブとは別の記憶媒体にもバックアップをとっておくと安全です。
万一ハードディスクが故障しても、これらの記憶媒体にバックアップをとっていると、ハードディスクを修理した後で、データを復旧することができます。

> お使いのモデルによっては、これらの記憶媒体にバックアップをとるために、別売の機器を購入する必要があります。

ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクのメンテナンスをする

メンテナンスとは、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータの障害の防止や発見、効率的な利用のために、検査や整備をすることです。このパソコンにはこれらのメンテナンスのためのツールがあらかじめインストールされています。

◎ ハードディスクを検査／修復する

「チェック ディスク」を使うことで、ハードディスクやハードディスクに記録されているデータに障害がないかどうかを検査することができます。
「チェック ディスク」は、ハードディスクドライブ上のFAT（ファイルアロケーションテーブル）や、クラスタ、ディレクトリツリー構造、ドライブの物理表面の不良セクタなどをチェックします。定期的にチェック ディスクを行って、ハードディスクに障害がないか検査してください。もし障害があった場合は、修復するようにしてください。

参照 **「チェック ディスク」の使いかた→Windowsのヘルプ**

◎ ハードディスクのデータを整理する

「ディスク デフラグ ツール」を使うことで、ハードディスク上のデータのフラグメンテーション（断片化）を解消し、データの並びを連続した状態に最適化することができます。

> フラグメンテーション（断片化）とは、データがディスクの空いている場所に、バラバラに保存されている状態をいいます。この状態になると、データが連続していないため、データの読み書きに時間がかかるようになります。

参照 **「ディスク デフラグ ツール」の使いかた→Windowsのヘルプ**

◎ 使用していないファイルを削除する

「ディスク　クリーンアップ」を使うことで、知らないうちにハードディスクにたまった不必要なファイルを削除して、ディスクの空き容量を増やすことができます。

> 不必要なファイルには、インターネットを利用したときやソフトウェアのインストール時、ソフトウェアを使用したときにソフトウェアが作成する一時ファイルなどがあります。

参照 **「ディスク　クリーンアップ」の使いかた→Windowsのヘルプ**

PART

4

トラブル解決 Q&A

トラブルの解決方法を具体的に説明しています。

はじめて電源を入れたとき

セットアップの画面が表示されない

◆ モバイルノート（ベイ内蔵型）の場合

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」というメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F2】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。



BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

2 【F9】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 「はい（Yes）」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 「はい（Yes）」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動します。

この後は『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

◆ その他のモデルの場合

はじめて本機の電源を入れたときに、「Press F1 to Run SETUP」というメッセージが表示されたときは、次の手順に従ってください。

1 【F1】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

参照 BIOSセットアップメニュー→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」

2 **「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。**

セットアップ確認の画面が表示されます。

3 **「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。**

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

4 **【F10】を押します。**

セットアップ確認の画面が表示されます。

5 **「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。**

BIOSセットアップメニューが終了し、本機が自動的に再起動します。このあとは『はじめにお読みください』をご覧になり、セットアップを続けてください。

Windows起動時に「Your hibernation file is either missing or corrupt...」と表示された

機種によっては、電源を入れたときに上記のメッセージが表示されますが、動作上問題はありません。

このメッセージが表示されないようにするには、以下のように設定してください。

1 **本機の電源を入れます。**

2 **「NEC」のロゴが表示されたら、すぐにキーボードの【F2】を押し続けます。**

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! **【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。**

3 **「省電力セットアップ」を選び、【Enter】を押します。**

省電力セットアップの画面が表示されます。

4 **「自動ハイバネーション」を「使用しない」にします。**

5 **【Esc】を押して【F10】を押します。**

セットアップ確認の画面が表示されます。

6「はい」を選び、【Enter】を押します。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

約5秒待ってからもう一度電源を入れて、表示される画面をチェックしてください。

◆ ハードディスクのチェックが実行され、セットアップが実行されたとき

そのままセットアップを続けることができます。セットアップが正常に終了した後は、問題なく使うことができます。
Windowsのセットアップは、停電などのやむを得ない理由で電源が切れたとき(電源を切ったとき)や、Windowsのいくつかのファイルが破損してしまったときなど、正常に作業が終了しなかったときにハードディスクのチェック機能が働きます。

参照 **ハードディスクのメンテナンス→PART3の「ハードディスクのメンテナンス」(p.73)**

セットアップ時に登録した名前や組織名を変更したい

セットアップ時に「ユーザー情報」で登録した名前や組織名は、セットアップが完了すると変更できません。
どうしても変更したいときは、再セットアップを行ってください。再セットアップの「ユーザー情報」のウィンドウで名前や組織名を入力します。

参照 **再セットアップするときには→『活用ガイド　再セットアップ編』**

ハードウェアの検出中にパソコンが動かなくなった(フリーズした)

本当にフリーズしていますか?

Windowsのセットアップは、さまざまな情報を入力したり、設定をしたりします。この際、正常に処理が行われていても、数分〜十数分画面が止まったようになることがあります。あわてて電源を切らないように注意してください。

電源を入れたとき

「Invalid system disk Replace the disk,…」というエラーメッセージが表示される

システムの入っていないフロッピーディスクをセットしたまま本機の電源を入れたり、再起動したりしていませんか?

フロッピーディスクドライブまたはスーパーディスクドライブからディスクを取り出し、何かキーを押してください。ハードディスクからシステムが起動します。

ディスプレイに何も表示されない

◆ 電源ランプが点灯していないとき

スタンバイ状態(サスペンド)になっていませんか?

『活用ガイド　ハードウェア編』をご覧になり、本機を復帰(レジューム)させてください。

参照 **スタンバイ状態(サスペンド)について→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows 2000の場合)」**

ACアダプタは正しく接続されていますか?　バッテリパックは取り付けられていますか?　バッテリは充電されていますか?

『はじめにお読みください』をご覧になり、バッテリパックやACアダプタを接続しなおしてください。

ACアダプタを接続しないで、バッテリパックを取り付けているときは、バッテリの残量がなくなっていることが考えられます。ACアダプタを接続して充電してください。

チェック!! **ACアダプタを正しく接続して電源を入れても電源ランプが点灯しないときは、本機の故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

◆電源ランプが点灯しているとき

ディスプレイの輝度(明るさ)は適切ですか?

モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合は【Fn】を押したまま【F7】または【F8】、それ以外のモデルでは【Fn】を押したまま【F8】または【F9】を押し、ディスプレイの輝度を調整してください。

外付けのディスプレイを接続していませんか?

外付けのディスプレイを接続した状態で、画面の出力先が「外部モニタ」になっているときは、液晶ディスプレイには画面が表示されません。キーボードの【Fn】を押したまま【F3】を押すことで、画面の出力先を切り替えることができます。詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「外部ディスプレイ」をご覧ください。

液晶ディスプレイで表示できない解像度に設定されていませんか?

強制的に本機の電源を切った後、セーフモードでWindowsを起動して、解像度を設定し直してください。

参照 **強制的に電源を切る方法→「強制的に終了させたい」(p.85)**

チェック!! **これらのチェックを行ってもディスプレイに何も表示されないときは、故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

Windows 2000が起動しない

BIOSセットアップメニューの設定が正しくない可能性があります。次の方法でBIOSセットアップメニューの設定をご購入時の状態に戻してください。

チェック!!

- **本機にPCカードを接続しているときは、取り外してください。**
- **BIOSセットアップメニューの設定を初期値に戻しても、スーパバイザパスワードとユーザパスワードは解除されません。**

◆モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

1. **本機の電源を入れます。**
2. **「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。**

   BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! 【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

3 キーボードの【F9】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

◆その他のモデルの場合

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたらすぐにキーボードの【F2】を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! 【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。

3 「デフォルト値をロード(Auto Configuration with Defaults)」を選び、【Enter】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

4 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

5 キーボードの【F10】を押します。

セットアップ確認のダイアログボックスが表示されます。

6 「はい(Yes)」を選び、【Enter】を押します。

これでBIOSセットアップメニューの設定が初期値に戻りました。

パスワードを入力すると「入力されたパスワードが間違っています」と表示される

設定したパスワードを正しく入力しましたか?

パスワードをもう一度確認して、正しく入力し直してください。

キャップスロックキーランプ(A)またはニューメリックロックキーランプ(1)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプ(A)やニューメリックロックキーランプ(1)が点灯していると、パスワードを正しく入力できない場合があります。

キャップスロックキーランプ(A)が点灯しているときは、【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してキャップスロックを解除してから、パスワードを入力してください。

ニューメリックロックキーランプ(1)が点灯しているときは、ニューメリックロックを解除してから、パスワードを入力してください。

◆ニューメリックロックの解除のしかた

・モバイルノートの場合
【Fn】+【F12】を押す

・その他のモデルの場合
【Num Lock】を押す

パスワードを忘れてしまった

Windowsのパスワードを忘れてしまったとき

Windowsのパスワードを忘れてしまったときは、「ログオン情報」の画面で、新しいユーザ名でログオンを行うか、Windowsを再セットアップしてください。



Administrator権限を持つユーザでログオンし、「ローカル　ユーザーとグループ」でパスワードを変更することもできます。



ローカルマシンのAdministrator権限を持つユーザすべてのパスワードを忘れてしまった場合、Windowsの設定のほとんどは変更できなくなってしまうので注意してください。

スーパバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード（暗証番号機能モデルのみ）を忘れたとき

スーパバイザパスワードや暗証番号ボタンのパスワード（暗証番号機能モデルのみ）を忘れてしまったときには、解除処置が必要です。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、NECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。

- **パスワード解除処置は保証期限内でも有償です。**
- **パスワード解除処置は原則としてお客様のお持ち込みによる対応となります。機密保持のため、お客様ご本人からのご依頼に限り、処置をお受けいたします。**
- **パスワード解除処置を依頼されるときには、次のものをすべてご用意ください。**

  1.本機の購入を証明するもの（保証書など）

  2.身分証明書（お客様ご自身を証明できるもの）

  3.印鑑

- **パスワード解除処置をご依頼の際、受付にてお客様ご自身により専用の用紙に必要事項を記入・捺印していただくことが必要です。専用用紙の記載事項にご同意いただけない場合には、処置のご依頼に対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

◆ハードディスクのパスワードを忘れてしまったとき

ハードディスクに保存したパスワードを忘れてしまうと、ハードディスクの利用ができなくなります。この場合は、ハードディスクの有償交換となります。また、ハードディスクに保存したデータを見られなくなります。

チェック!! **お客様ご自身で作成されたデータも利用できなくなります。ハードディスクは有償で交換することになりますので、ハードディスクのパスワードは忘れないように十分注意してください。**

起動時、「Your hibernation file is either missing or corrupt...」のメッセージが表示された

機種によっては毎回起動時にこのメッセージが表示されますが、動作上問題ありません。
もしこのメッセージを表示させないようにしたい場合は以下の手順で設定してください。

4 トラブル解決 Q&A

1 本機の電源を入れます。

2 「NEC」のロゴが表示されたら、すぐにキーボードの【F2】を押し続けます。

BIOSセットアップメニューのメイン画面が表示されます。

チェック!! **【F2】を押し続けてもBIOSセットアップメニューが表示されないことがあります。この場合、再度【F2】を押しながら電源を入れてください。**

3 「省電力セットアップ」を選び、【Enter】を押します。

省電力セットアップの画面が表示されます。

4 「自動ハイバネーション」を「使用しない」にします。

5 【Esc】を押して【F10】を押します。

セットアップ確認の画面が表示されます。

6 「はい」を選び、【Enter】を押します。

電源を切るとき

正しい電源の切りかたを知りたい

1 「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックします。

「Windowsのシャットダウン」ウィンドウが表示されます。

2 ▼をクリックし「シャットダウン」を選択して「OK」ボタンをクリックします。

しばらくすると、自動的に電源が切れ、電源ランプが消えます。

チェック!! **電源スイッチから電源を切らないでください。**

強制的に終了させたい

上記の手順で電源が切れないときは、アプリケーションに異常が起きていることが考えられます。次の手順に従ってアプリケーションを強制的に終了してください。

チェック!! **この方法でアプリケーションを終了させると、保存していないデータは消えてしまいます。**

◆強制的にアプリケーションを終了させる

1 【Ctrl】と【Alt】を押したまま【Del】を押して「Windowsのセキュリティ」画面を表示し、「タスクマネージャ」ボタンをクリックします。

「Windowsタスクマネージャ」ウィンドウが表示されます。

2 「アプリケーション」タブをクリックします。

3 「状態」欄に「応答なし」と表示されているプログラム(アプリケーション)をクリックし、「タスクの終了」ボタンをクリックします。



4 もう一度、前ページの「正しい電源の切りかたを知りたい」の手順に従って電源を切ってください。

この方法でも正常に電源を切れないときは、次のようにして本機を強制的に終了させてください。

◆強制的に電源を切る

1 電源スイッチを約4秒以上操作し続けます。

チェック!! **「コントロールパネル」の「電源オプション」で、電源スイッチでスリープ状態になる設定にしてある場合、この操作をするとスリープ状態になってしまうことがあります。このようなときには、いったん電源スイッチから手を離し、もう一度電源スイッチを約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。**

◆電源を強制OFFできないとき

約4秒以上電源スイッチを操作し続けても電源を切れないときには、もう一度約4秒以上電源スイッチを操作し続けてください。それでも電源が切れない場合は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

省電力機能

自動的にスタンバイ状態(サスペンド)にならない

一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続していませんか?

双方向通信するプリンタなど、一定間隔でパソコンにアクセスする周辺機器を接続しているときは、自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になりません。

実行中のプログラムをすべて終了してから、もう一度設定し直してください

電話回線を使用中のときは、回線を切ってからスタンバイ状態(サスペンド)にしてください。

アプリケーションや周辺機器は、スタンバイ状態(サスペンド)に対応していますか?

アプリケーションによっては、周辺機器でこの機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源を約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

休止状態(ハイバネーション)にできない

休止状態(ハイバネーション)は設定されていますか?

「休止状態をサポートする」のチェックボックスがチェックされていなかったり、チェックされていても「ポータブルコンピュータを閉じたとき」または「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定が「休止状態」になっていないと「休止状態(ハイバネーション)」にできません。

以下の手順で設定してください。

1 「コントロールパネル」を開き「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。

「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **「休止状態」タブをクリックし、「休止状態をサポートする」のチェックボックスにチェックをつけます。**

3 **「適用」ボタンをクリックします。**

4 **「詳細」タブをクリックします。**

5 **「電源ボタン」欄の「ポータブルコンピュータを閉じたとき」または「コンピュータの電源ボタンを押したとき」の設定を「休止状態」にします。**

6 **「OK」ボタンをクリックします。**

この後は、手順5で「休止状態」に設定した操作を実行すると休止状態（ハイバネーション）にすることができます。

アプリケーションや周辺機器は、休止状態（ハイバネーション）に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れなおしてください。電源を切ることができない場合は、電源を約 4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、休止状態（ハイバネーション）にしないでください。

スリープ状態から復帰（レジューム）したが、何も画面に表示されない

キャップスロックキーランプ（Ⓐ）とスクロールロックキーランプ（⇅）が交互に点灯していませんか?

スリープ状態から復帰（レジューム）したときに、画面に何も表示されずにキャップスロックキーランプ（Ⓐ）とスクロールロックキーランプ（⇅）が交互に点灯しているときには、パスワードが設定されています。
電源を入れたときに入力したパスワードをもう一度入力し直してから、【Enter】を押してください。

チェック!! **スタンバイ状態（サスペンド）から復帰（レジューム）したときに入力するパスワードは、前回電源を入れたときのパスワードと同じものを入力する必要があります。**

スリープ状態から復帰(レジューム)したが、スリープ状態にする前の状態の画面が表示されない

バッテリの残量はありますか?

スタンバイ状態(サスペンド)のときにバッテリ残量がなくなると、電源が切れます。

参照 バッテリの残量を確認するには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「バッテリ」

アプリケーションや周辺機器は、スリープ状態に対応していますか?

アプリケーションや周辺機器によっては、この機能を使おうとすると、正常に動作しなくなることがあります。一度本機の電源を切って、もう一度電源を入れ直してください。電源を切ることができない場合は、電源を約4秒以上操作し続けて本機を強制的に終了させてください。また、このようなアプリケーションや周辺機器を使うときは、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。

スリープ状態にしておいたデータを復帰(レジューム)させようとしたら、画面が乱れて電源が切れた

パソコンがスリープ状態への移行処理中、またはスリープ状態から復帰(レジューム)中に次の操作を行いませんでしたか?

・ディスプレイのフタを閉めた

・電源を切った

これらの操作を行うと、復帰(レジューム)できなくなることがあります。このような場合は、電源スイッチで電源を入れてください。エラーメッセージが表示されたときは、メッセージに従ってください。

スリープ状態から復帰(レジューム)しようとしたら、「コンピュータのロックの解除」画面が表示された

このパソコンはご購入時の状態では「コンピュータのロックの解除」画面が表示されるように設定されています。

セットアップ時に登録したパスワードを入力し「OK」を押すと復帰(レジューム)させることができます。

「コンピュータのロックの解除」画面を表示させないようにするには、以下の手順で設定を変更してください。

1 「コントロールパネル」を開き「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。

「電源オプションのプロパティ」画面が表示されます。

2 「詳細」タブをクリックし、「スタンバイ状態から回復するときにパスワードの入力を求める」のチェックボックスのチェックをはずします。

3 「OK」ボタンをクリックします。

休止状態(ハイバネーション)から正しく復帰(レジューム)できない

フロッピーディスクやCD-ROMがセットされている状態で、休止状態(ハイバネーション)から復帰(レジューム)すると、正しく復帰(レジューム)できない場合があります。
フロッピーディスクやCD-ROMを抜いてから休止状態(ハイバネーション)にするようにしてください。



チェック!! フロッピーディスクを使用している場合は、必要なファイルを保存してからフロッピーディスクを抜いてください。

バッテリ

ACアダプタを接続してもバッテリの充電が始まらない

バッテリがフル充電されていませんか?

バッテリがフル充電されている場合はバッテリ充電ランプが消灯しています。既にバッテリがフル充電されていたり、フル充電に近いと充電されないことがあります。

バッテリパックが接触不良を起こしていませんか?

バッテリパックが接触不良のときには、バッテリ充電ランプが点滅します。バッテリパックを取り外し、もう一度取り付け直してください。

インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されない

バッテリパックは取り付けられていますか?

バッテリパックが取り付けられていないと電源アイコン( )は表示されません。

バッテリパックから本機を駆動していませんか?

バッテリパックから本機を駆動している場合は電源アイコン( )が表示されません。

「コントロールパネル」の「電源オプション」で、「アイコンをタスクバーに常に表示する」はオンになっていますか?

1. **「コントロールパネル」を開き、「電源オプション」アイコンをダブルクリックします。**

   「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2. **「詳細」タブの「アイコンをタスクバーに常に表示する」が □(オフ)になっているときは、クリックして ☑(オン) にします。**

3. **「OK」ボタンをクリックします。**

   「電源オプションのプロパティ」ウィンドウが閉じ、インジケータ領域(タスクトレイ)に電源アイコンが表示されます。

フル充電したのに、バッテリ充電ランプが点灯する

バッテリは少しずつ自然放電しているので、それを補充するため、ACアダプタが接続されているときは自動的に充電が始まります。故障ではありません。

バッテリ充電ランプが点滅する

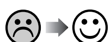
バッテリが正しく取り付けられていますか?

電源を切り、ACアダプタとバッテリパックを取り外してからもう一度正しく取り付け直してください。

バッテリパックを取り付け直しても直らないときは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「バッテリ」の「バッテリリフレッシュ」をご覧になり、バッテリリフレッシュを行ってください。バッテリリフレッシュを行っても直らないときはバッテリパックの寿命ですので、別売のバッテリパックと交換してください。

表示

電源を入れてしばらくすると、画面が真っ暗になる



Windows 2000の「電源オプション」で「モニタの電源を切る」を設定していませんか?

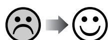
NXパッドなどのポインティングデバイスを操作するか、またはキーボードのいずれかのキー(【Shift】など)を押してください。元に戻らないときは、スタンバイ状態(サスペンド)になっていることが考えられます。『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「省電力機能(Windows　2000の場合)」をご覧になり、スタンバイ状態(サスペンド)から復帰(レジューム)させてください。

デスクトップ画面を従来のWindowsのスタイルにしたい

次の操作をするとデスクトップ画面はWindows　95に近いものになります。

1. **「マイコンピュータ」を開き、「ツール」メニューの「フォルダオプション」をクリックします。**
2. **「全般」タブの「Active Desktop」で「従来のWindows デスクトップを使う」を選んで「OK」ボタンをクリックします。**

アクティブデスクトップで「Webコンテンツの表示」にチェックをつけたら「インターネット接続が設定されていないため、Active Desktopの項目を表示できません。」というエラーが表示された



「OK」ボタンをクリックすると、自動的に「インターネット接続ウィザード」が起動します。このあとは、画面のメッセージにしたがって設定を行ってください。設定を行うとエラーは出なくなります。

コマンド　プロンプト画面がフルスクリーンになってしまった

【Alt】を押したまま【Enter】を押してください。

表示できるはずの高解像度を選べない

別売のディスプレイでは、プラグアンドプレイ(DDC)対応ディスプレイでも、ディスプレイの種類によっては、高解像度など、サポートしている表示モードの一部を選べないことがあります。

次の操作を行ってください。

1 ディスプレイを接続し、Windowsを起動します。

起動時にディスプレイが検出されたことを表すメッセージが表示されます。

2 「コントロールパネル」を開き「画面」アイコンをダブルクリックします。

「画面のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

3 「設定」タブの「詳細」ボタンをクリックして「モニタ」タブをクリックします。

4 「モニタの種類」一覧から接続したモニタを選択し「プロパティ」ボタンをクリックします。

5 「ドライバ」タブをクリックし、「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。

6 「次へ」ボタンをクリックします。

7 「このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する」を⊙(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

8 「このデバイスクラスのハードウェアをすべて表示」を⊙(オン)にします。



画面はモデルによって多少異なります

9 「製造元」でディスプレイの製造元を選び、「モデル」でディスプレイの種類を選びます。

ディスプレイ一覧に、接続したディスプレイの種類が表示されないときは、「製造元」で「（標準モニタの種類）」を選び、「モデル」で接続したディスプレイがサポートしている解像度を選びます。

参照 **ディスプレイの製造元とモデル→ディスプレイ添付のマニュアル**

10 「次へ」ボタンをクリックし、もう一度「次へ」ボタンをクリックします。

11 「完了」ボタンをクリックします。

12 「閉じる」ボタンをクリックします。

13 「OK」ボタンをクリックします。

参照 **解像度の変更をするときには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART 1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」**

NXパッド

画面反転時にNXパッドの操作と画面のポインタの動作が合わない(モバイルノートの場合)

NXパッドドライバをインストールしてください。

参照　**NXパッドドライバのインストールについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「NXパッド」**

NXパッドの拡張機能を使用したい

NXパッドの拡張機能を使用したい場合は、NXパッドのドライバをインストールしてください。

参照　**NXパッドドライバのインストールについて→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「NXパッド」**

何も反応しない、または反応が鈍い

◆キーボードのキーを押すと反応する

指先やNXパッドが汚れていませんか?

指先やNXパッドに水分や油分がついていると、正常に動作しません。汚れを拭き取ってから操作してください。

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていませんか?

NXパッドの2カ所以上に同時に触れていると、正常に動作しません。

NXパッドを使用しない設定になっていませんか?

◆モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

BIOSセットアップメニューの「詳細(Advanced)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

◆その他のモデルの場合

BIOSセットアップメニューの「拡張セットアップ(Advanced CMOS Setup)」の「NXパッド(Internal Mouse)」を「使用する(Enabled)」に設定してください。

参照 **BIOSセットアップメニューの設定→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

「マウスのプロパティ」で「ボタン設定」が変更されていませんか?

次の手順でボタンの設定を変更することができます。



以下の操作を行う前にNXパッドドライバのインストールが必要です。

1 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。

「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ボタン」タブの「ボタン設定」で「左ボタン」「右ボタン」「左右ボタン」の設定を使いやすいように設定してください。

チェック!! **必ずどれか1つに「クリック」を設定してください。**

3 「OK」ボタンをクリックします。

◆反応が鈍い

ポインタの速度が遅くなっていませんか?

「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックして表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの「動作」タブで「速度」を調整してください。

◆キーボードのキーを押しても反応しない

マウスポインタが砂時計の形⌛に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、NXパッドの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。
しばらく待ってもNXパッドの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。

参照 **強制終了をするときには→「強制的に終了させたい」(p.85)**

文字入力

キーボードのキーを押しても、何も反応しない



マウスポインタが砂時計の形に変わっていませんか?

マウスポインタが砂時計の形になっているときは、パソコンがプログラムの処理をしているので、キーボードからの操作は受け付けられません。処理が終わるまで待ってください。
しばらく待ってもキーボードの操作ができないときは、プログラムに異常が発生して動かなくなった(フリーズした)と思われます。アプリケーションを強制終了してください。このとき、保存していなかったデータは消去されます。



強制終了をするときには→「強制的に終了させたい」(p.85)

別売のキーボードを接続したが、キーを押しても反応しない。使えないキーがある



キーボードの設定は行いましたか?

設定していないときは、次の方法でキーボードの設定を行ってください。



チェック!! この方法で設定すると別売のキーボードも使えますが、キーによっては使えなくなることがあります。

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックして「キーボード」の左の+をクリックし、表示されたキーボード名をダブルクリックします。

3 「ドライバ」タブの「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

デバイスドライバのアップグレードウィザードが表示されます。

4 「次へ」ボタンをクリックします。

5 **「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」の◯(オフ)をクリックして◉(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックします。**

6 **「ドライバファイルをどこで検索しますか?」と表示されたら、「場所を指定」の□(オフ)をクリックして☑(オン)にし、「次へ」ボタンをクリックします。**

7 **キーボードのマニュアルなどに記載されているフォルダを指定して、「OK」ボタンをクリックします。**

8 **「次へ」ボタンをクリックします。**

これ以降は画面の指示に従って設定してください。

キーボードで押したキーと違う文字が表示される

キャップスロックキーランプ(🔒A)が点灯していませんか?

キャップスロックキーランプ(🔒A)が点灯している状態で【Shift】を押していないときは大文字、押しているときは小文字が入力されます。
【Shift】を押したまま【Caps Lock】を押してランプを消すと、キャップスロックが解除され【Shift】を押していないときは小文字、押しているときは大文字が入力される状態になります。

ニューメリックロックキーランプ(🔒1)が点灯していませんか?

ニューメリックロックキーランプ(🔒1)が点灯しているときには、モバイルノートの場合は、キー上段に青または黄色で表示されている数字や記号が入力され、その他のモデルの場合は、キー前面に印字されている数字や記号が入力されます。ニューメリックロックを解除すると、通常の文字が入力される状態になります。

◆ニューメリックロックの解除のしかた

- **モバイルノートの場合**
  【Fn】+【F12】を押す

- **上記以外のモデルの場合**
  【Num Lock】を押す

入力したいモードになっていますか?

日本語入力と英字入力を切り替えたいときは、【Alt】を押したまま【半角／全角】を押します。
日本語入力モードでかな入力とローマ字入力を切り替えたいときは、【Ctrl】を押したまま【Caps Lock】を押します。

別売の98配列USBキーボード（バスパワードハブ付き）を使っていませんか?

別売の98配列USBキーボード（バスパワードハブ付き）（PK-KB011）を使っているときは、内蔵キーボードは使用できません。

記号などで入力できない文字がある

日本語入力システムを使っても入力できないような文字は、文字コード表を使って入力します。

1 **「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム ツール」の「文字コード表」をクリックします。**

「文字コード表」ウィンドウが表示されます。



2 **文字コード表の文字をダブルクリックして、「コピー」をクリックし、文書を開いているアプリケーションの「編集」メニューの「貼り付け」を選びます。**



貼り付け先でフォントの再指定が必要なものもあります。

参照 **文字コード表の使いかた→文字コード表のヘルプ**

キーボード操作でログオフしたら、マウスポインタが動かなくなった

次のように操作してください。

1. 【Tab】を押して入力フィールドを移動し、ユーザ名／パスワードを入力します。
2. 【Enter】を押してログオンします。
3. ログオン後、何かキーを押します。

また、次のように設定を変更しておくと、上記のような現象を回避することができます。

1. 「コントロールパネル」を開き、「マウス」アイコンをダブルクリックします。
2. 「タッピング」タブをクリックします。
3. タイピングの「キー入力時タップ・ポインタ移動しない」を☐にします。
4. 「OK」ボタンをクリックします。

ファイル保存

ハードディスクに保存できない

ディスクの空き領域を確認してください

「ハードディスクの空き領域が足りない」(→p.126)に従って空き領域を増やしてください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

フロッピーディスクやスーパーディスクに保存できない

フロッピーディスクやスーパーディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

参照 **ライトプロテクトを解除するには→「読み込みはできるが、書き込みができない」(p.124)**

ディスクの空き領域を確認してください

ディスクの空き領域が足りないときは、いらないファイルを削除するか、別のディスクを使ってください。ディスクの空き領域よりもサイズが大きいファイルは保存できません。

MOドライブやハードディスクなどを接続すると、より大容量のデータを扱うことができます。本機では、市販のMOドライブやハードディスクなどを接続することができます。

インターネット／パソコン通信

接続できない

URLが正しく入力されていますか?

入力したアドレスが間違っていると、「ページが見つかりません」などのメッセージが表示されて接続できません。

URL(http://…ではじまるアドレス)には、大文字、小文字の区別があります。すべて半角で入力し、コロン(:)、スラッシュ(/)、ピリオド(.)、チルダ(~)などが抜けないようにしてください。

モデムがきちんとセットアップされていますか?

別売のモデムを新しく接続したときは、モデムのセットアップを行う必要があります。モデムのマニュアルをご覧になり、セットアップしてください。

接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

電話回線の設定は正しいですか?

ご利用の電話回線がトーン式(プッシュ回線)かパルス式(ダイヤル回線)かを確かめてください。電話会社のご利用料金の明細書に、「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。また、ご利用の電話回線が外線発信の必要な場合は、外線発信番号が設定されているかを確かめてください。パソコンの回線の設定を「電話とモデムのオプション」ウィンドウで確認し、ご利用の電話回線に合わせます。

ワイヤレスモデルをお使いの場合は、ご利用の電話回線が「パルス」の場合でも「トーン」に設定してください。

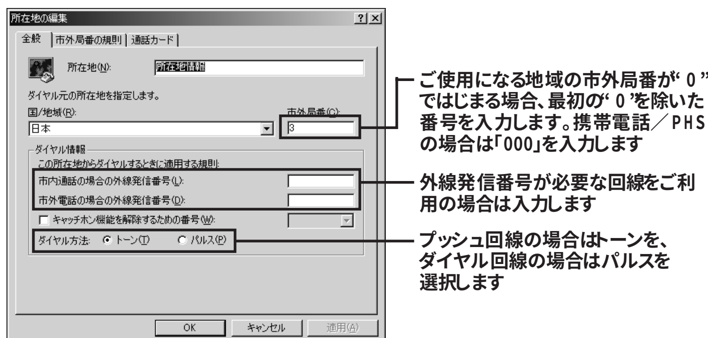
電話回線の設定は次の手順で表示される「所在地の編集」ウィンドウで行ってください。

1 「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。

2 「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。

「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。



ダイヤルアップの設定は正しいですか?

プロバイダに接続するための正しい情報を設定する必要があります。ダイヤルアップの画面で、正しく設定できているかを確かめてください。

インターネットエクスプローラの接続設定は正しいですか?

1 「コントロールパネル」を開き「インターネットオプション」アイコンをダブルクリックします。

「インターネットのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルアップの設定」で「通常の接続でダイヤルする」が◉(オン)になっているか確認します。

電話番号は正しいですか?

接続先の電話番号をもう一度確かめてください。

回線が混雑していませんか?

時間帯によっては回線が混んでいて接続できないことがあります。何度か接続し直してみるか、少し待ってから接続し直してください。また、何度接続し直しても接続できない場合には、アクセスポイントを変更してみてください。

電話を使っていませんか?

電話と同じ回線に接続しているとき、電話を使っている間はインターネットに接続できません。電話を切ってから接続の操作を行ってください。

キャッチホンサービスを受けていませんか?

キャッチホンサービスを受けている場合、モデムで通信中に電話がかかってくると、モデムによる通信が切れる場合があります。この場合は、もう一度接続し直してください。通話中にかかってきた電話を転送・録音する、キャッチホンIIというサービスを利用すると通信が切れることはありません。

電話回線を使うアプリケーションが他に起動していませんか?

電話回線を使うアプリケーションが他にも起動していると、インターネットに接続できないことがあります。そのアプリケーションを終了させたあと、接続の操作を行ってください。

FAXモデムは動作していますか?

デバイス マネージャの画面を表示して(→p.135)、FAXモデムが正しく認識されているかを確認してください。

FAXモデムのアイコンが表示されていなかったり、アイコンに赤い「×」や黄色い「!」がついているときは、正しく認識されていません。Windowsのヘルプを参照して、「×」や「!」がついていない状態にしてください。

親機の通信圏外でダイヤルしようとしていませんか?(ワイヤレスモデルの場合)

別売の親機との有効通信圏は最大約100m以内です。有効通信圏内でダイヤルしなおしてください。
BIOSセットアップメニューで設定すると、圏内/圏外の状況をランプで表示させることができます。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「表示ランプ」をご覧ください。

親機の設定が間違っていませんか?(ワイヤレスモデルの場合)

購入時の状態では、別売の親機のダイヤル方法は「パルス」(20pps)に設定されています。ご利用の電話回線のダイヤル方法が「トーン」(プッシュ信号)や「パルス」(10pps)の場合、別売の親機の設定を変更する必要があります。

参照 別売の親機に添付のマニュアル

「モデムを検出できませんでした。モデムは使用中か、電源が入っていないか、または正しくインストールされていません。」と表示される

ポート（COM値）は接続されていますか?

1 **「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。**

「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。

2 **「モデム」タブをクリックし、使っているモデムをクリックして「プロパティ」でポートの欄に接続しているポートが表示されているか確認してください。**

通信ソフトの設定とCOMの値を確認してください。

◆ モデムが外付けのとき

モデムの電源と接続を確認してください。

参照 周辺機器のマニュアル

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動していませんか?

他にも電話回線を使うアプリケーションを起動している場合は、そのアプリケーションを終了してからインターネットに接続してください。

文字がおかしくなったり、データの送受信にエラーが発生する

通信相手との通信条件は正しいですか?

通信相手の通信条件（最大通信速度、エラー訂正手順など）を確かめて、通信速度を下げるなどの設定をしてください。詳しくは、通信ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。

本機の近くにテレビやラジオなどがありませんか?

テレビやラジオなどは、本機から遠ざけて使ってください。
本機の近くにテレビやラジオなどがあると、本機とモジュラーコンセントを接続するモジュラーケーブルがノイズの影響を受けて、正しく通信ができないことがあります。

◆Outlook Expressで送ったメールが文字化けしていたとき

メールの送信形式をテキスト形式にしてください。
ご購入時の状態では、HTMLメールを送るように設定されています。送信先の相手の電子メールソフトがHTMLメールに対応していない場合、HTML形式の読みにくいメールになってしまいます。メールの送信形式を単純なテキスト形式にするには次のように設定してください。

1 **Outlook Expressの「ツール」メニューから「オプション」をクリックします。**

2 **「オプション」ウィンドウの「送信」タブをクリックします。**

3 **「メール送信の形式」の「テキスト形式」をクリックします。**

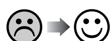
4 **「ニュース送信の形式」シートの「テキスト形式」をクリックします。**

5 **「OK」ボタンをクリックします。**

これで送信形式が変更されました。

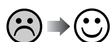


メールの返信を、送り先の電子メールソフトやニュースリーダーで表示できる形式で送るには、「受信したメッセージと同じ形式で返信する」をクリックして☑(オン)にします。



半角のカタカナや特殊記号を使っていませんか?

半角のカタカナや特殊記号(丸付き数字や罫線文字など)は使わないでください。



件名(サブジェクト)に漢字やひらがなを使っていませんか?

件名(サブジェクト)には、漢字やひらがななどの全角文字を使わないでください。文字化けの原因になることがあります。使うときは、18文字以内にしてください。

ファイルを添付したメールをうまく送れない



メールに添付したファイルサイズが、加入しているインターネットプロバイダが許容するサイズより大きくありませんか?

インターネットサービスプロバイダによっては、送信できる添付ファイルのサイズを制限していることがあります。

このようなときは、メールに添付するファイルを圧縮ツールなどを使って圧縮してから送ってください。また、複数のファイルを一度に送るときは、分割して送ってください。メールサイズの上限については、加入しているインターネットプロバイダのサポート窓口で確かめてください。

メモ

圧縮ツールは、ファイルのサイズを小さく圧縮するアプリケーションです。インターネットのホームページや雑誌の付録などで配布されているものもあります。

Outlook Expressで電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信する設定を行っていますか?

相手もOutlook Expressを使っている場合、次の手順を行うと、サイズが制限されているプロバイダのサーバーに、制限を超えるサイズの電子メール(添付ファイルを含む)を分割して送信できます。分割して送信された電子メールは受信先で結合され、1つの電子メールになります。

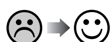
1. **Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。**
2. **「メール」タブまたは「ニュース」タブをクリックし、アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。**
3. **「詳細設定」タブをクリックし、「次のサイズよりメッセージが大きい場合は分割する」をチェックしてオンにします。**
4. **プロバイダが許可している最大のサイズを入力します。**

   メールのサイズの上限については、加入しているプロバイダにご確認ください。

Outlook Expressでサーバーのタイムアウトまでの時間が短く設定されていませんか?

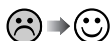
1. **Outlook Expressの「ツール」メニューから「アカウント」をクリックします。**
2. **アカウントを選択し、「プロパティ」をクリックします。**
3. **「詳細設定」タブで「サーバーのタイムアウト」のつまみを右にドラッグして、時間を調節します。**

「発信音がありません。」と表示された



電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラーケーブルが抜けていたり浮いていたりしませんか?
電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。



内線/外線の区別がある電話回線を使っていませんか?

受話器を取ったときに発信音が聞こえるかどうか確認してください。発信音が聞こえない、または通常の発信音(「ツー」という長い音)以外の音が聞こえる場合は、次の手順に従って設定してください。

1. **「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。**
2. **「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし「編集」ボタンをクリックします。**

   「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。
3. **「ダイヤル情報」欄で「外線発信番号」を入力します。**
   たとえば、0発信が必要な場合は、「市内通話の場合の外線発信番号」と「市外通話の場合の外線発信番号」にそれぞれ「0」を入力します。
4. **「ダイヤル情報」欄でお使いの電話回線にあわせて「トーン」または「パルス」をクリックします。**
5. **「OK」ボタンをクリックします。**
6. **「モデム」タブをクリックし、使用するモデムをクリックし「プロパティ」ボタンをクリックします。**
7. **「全般」タブの「ダイヤルの管理」欄で「発信音を待ってからダイヤルする」のチェックを外します。**
8. **「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。**

アプリケーションによっては独自に設定を保存している場合があります。このようなアプリケーションをお使いの場合は、各アプリケーションのマニュアルに従って設定を変更してください。


チェック!!

ワイヤレスモデルで別売の親機をご利用の場合、構内変換機によっては外線発信番号のダイヤル間隔に対応できない場合があります。その場合は、外線発信番号が必要のない電話回線をご利用ください。

加入電話回線以外の回線と接続していませんか?

加入電話回線以外と接続すると、本機が正しく動作しない場合があります。また、本機を破損するおそれがあります。

「発信音がありません。モデムがコンピュータと電話線に接続されているかどうかを確認してください。」と表示された

電話回線は正しく接続されていますか?

モジュラージャックが抜けていたり浮いていたりしませんか?電話回線が正しく接続されていないときは、正しく接続し直してください。

トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。次の手順に従ってお使いの電話回線にあった方を設定してください。電話会社のご利用料金の明細書に「プッシュ回線使用料」が記載されていたら、プッシュ(トーン)回線です。詳しくはNTTの116番にお問い合わせください。

1 「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。

「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。

2 「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地クリックし、「編集」ボタンをクリックします。

「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。

3 「ダイヤル情報」欄の「ダイヤル方法」で「トーン」か「パルス」のいずれかを選択します。

4 「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。

「回線はビジーです。」と表示された

電話回線が混み合っていませんか?

しばらく待ってからもう一度接続し直してください。

トーンまたはパルスの設定は正しいですか?

電話回線にはトーン式(プッシュ回線)とパルス式(ダイヤル回線)の2通りがあります。上記の「「発信音がありません。モデムがコンピュータと電話線に接

続されているかどうかを確認してください。」と表示された」の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「ダイヤル先のコンピュータが応答しません。」と表示された

電話回線にはトーン式（プッシュ回線）とパルス式（ダイヤル回線）の2通りがあります。「「発信音がありません。モデムがコンピュータと電話線に接続されているかどうかを確認してください。」と表示された」（→p.110）の手順に従って、お使いの電話回線にあった方を設定してください。

「回線が混雑しているか、電話回線使用のお客様は、トーン／パルス、外線発信番号（“0”）の設定、ISDN回線使用のお客様は、同期／非同期設定に誤りがあります」と表示された

電話回線の設定は正しいですか?

次の手順に従って回線の確認と設定を行ってください。

電話回線の設定は次の手順で表示される「所在地の編集」ウィンドウで行ってください。

1 **「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。**

「電話とモデムのオプション」ウィンドウが表示されます。

2 **「ダイヤル情報」タブの所在地リストから設定する所在地をクリックし、「編集」ボタンをクリックします。**

「所在地の編集」ウィンドウが表示されます。必要な項目を確認して設定してください。

所在地の編集
全般 | 市外局番の規則 | 通話カード
所在地(N): 所在地情報
ダイヤル元の所在地を指定します。
国/地域(R): 日本
市外局番(C): 3
ダイヤル情報
この所在地からダイヤルするときに適用する規則:
市内通話の場合の外線発信番号(L):
市外電話の場合の外線発信番号(D):
キャッチホン機能を解除するための番号(W):
ダイヤル方法: トーン(T) パルス(P)
OK キャンセル 適用(A)

ご使用になる地域の市外局番が“0”ではじまる場合、最初の“0”を除いた番号を入力します。携帯電話／PHSの場合は「000」を入力します

外線発信番号が必要な回線をご利用の場合は入力します

プッシュ回線の場合はトーンを、ダイヤル回線の場合はパルスを選択します

3 **「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。**



ISDN回線の同期／非同期の設定は正しいですか?

デスクトップ上の「マイコンピュータ」にある「ダイヤルアップネットワーク」を開き、アクセスポイントのアイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックすると、「接続の方法」欄にドライバが表示されます。

一般に、「SYNC」という部分があれば同期、「ASYNC」という部分があれば非同期です。また「128」という部分があれば128kbps接続です。これらがプロバイダが公開しているアクセスポイントの設定と同じか確認し、間違っているときは設定しなおしてください。

ダイヤラでダイヤルできない

「ダイヤラ」で正常にダイヤルできない場合は、「ダイヤル中」ダイアログボックスの「オプションの変更」ボタンをクリックし、「ダイヤルする番号」の先頭に表示されている「T」または「P」の文字を削除してからダイヤルし直してください。

モデムで電話できるか確認したい

正しく電話されているかどうか、モデムが電話している音で確認することができます。モデムから音がしなかったり、音が小さいときは次の手順で調整してください。

◆モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」、「あり」と変化します。

◆モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

【Fn】を押したまま【F6】を押して、音量を調整します。キーを押すたびに音量が「なし」、「小」、「中」、「大」と変化します。

◆上記以外のモデルの場合

1 **「コントロールパネル」を開き「電話とモデムのオプション」アイコンをダブルクリックします。**

2 **「モデム」タブでお使いのモデムを選択し、「プロパティ」ボタンをクリックし、「全般」タブの「音量」を調整します。**



・これを右にドラッグすると大きな音になります。

・「オフ」になっているとモデムからの音がしなくなります。

画面はモデルによって多少異なります

3 **「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。**


チェック!!

- **モデムの音量設定が「オフ」になっていないのに電話をしてもモデムから音がしないときは、何らかの原因でモデムが動いていないことが考えられます。「接続できない」(→p.103)をご覧になり、対処してください。**
- **上記の方法でも解決しないときは、モデムの故障が考えられますので、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、モデムの製造元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。**

「要求されたWebページは、オフラインで使用できません。」と表示される

「オフライン作業」をオン(チェックマークがついた状態)にしているときに、インターネットにアクセスしないと得られない情報を得ようとするとこのメッセージが表示されます。ダイヤルアップ接続をして最新のインターネット情報を表示したいときは、「接続」をクリックしてください。そうでないときは、「オフライン継続」をクリックしてください。
「接続」をクリックすると、「オフライン作業」は解除されます。

インターネットエクスプローラや関連製品に関するサポート技術情報について知りたい

インターネットエクスプローラやその関連製品に関するサポート技術情報は、次の方法で調べることができます。

インターネットに接続し、インターネットエクスプローラやその関連製品の「ヘルプ」メニューをクリックし、オンラインサポートをクリックします。しばらくすると、Microsoft社のサポートページが表示されます。このあとは、そのページの説明にしたがって操作してください。

自動発着機能が作動しない

接続は正しくできていますか?

モジュラーケーブルが正しく接続されているかを確かめてください。

発信命令の送り方や条件は正しいですか?

モデムのマニュアルのATコマンドの項目や、使っている通信ソフトのマニュアルをご覧になり、発信命令の送り方や条件を確かめてください。

メモ ATコマンド一覧を見る方法

モデムが内蔵されているモデルでは、次のようにしてATコマンド一覧を参照することができます。

1. **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。**
2. **「名前」に次のように入力します。**

   C:¥WINNT¥SCmodem¥Atc¥Html¥Atc000.HTM

3. **「OK」ボタンをクリックします。**

Outlook 2000でFAX受信したファイルが開けない

ユーザ名に全角文字が含まれていると、Outlook 2000でFAX受信したファイルが開けないことがあります。
新たに半角英数字だけを使用したユーザ名を設定し、そのユーザ名でログオンしてOutlook 2000を使用してください。

インターネットエクスプローラを終了しても回線が切断されない

ダイヤルアップネットワーク接続の場合、インターネットエクスプローラを終了しても 回線が接続されたままになることがあります。回線の切断が必要な場合は、インジケータ領域(タスクトレイ)の「ダイヤルアップネットワーク」アイコンを右クリックし、「切断」をクリックしてください。

ネットワーク(LAN)

ネットワークへの接続方法が分からない

LAN内蔵モデルをご使用の方は、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「LAN(ローカルエリアネットワーク)」をご覧になり、リンクケーブルを接続してください。
また、必要なネットワークソフトウェアを正しくセットアップしてください。

ネットワークに接続できない

接続は正しくできていますか?

ネットワーク管理者に相談して、パソコンとHUB(ハブ)がリンクケーブルで正しく接続されているかを確かめてください。

設定が間違っていませんか?

プロトコルやドメインワークグループなどの設定が間違っているか、またはコンピュータアカウントがプライマリドメインコントローラ上にありません。
詳しくはネットワーク管理者に相談してください。

◆「マイネットワーク」に「ネットワーク全体」のアイコンしか表示されない

「マイネットワーク」に表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、ネットワークが正常に接続されていないか、ネットワークソフトウェアの設定が正しくありません。接続の方法やネットワークソフトウェアを確認してください。

◆「マイネットワーク」に自分のコンピュータしか表示されない

「マイネットワーク」に表示されるまでには、時間がかかることがあります。しばらく待ってから、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックしてください。
それでも表示されない場合は、接続しようとしているドメインまたはワークグループが一致しているか確認してください。設定されているドメインまたはワークグループは、「コントロールパネル」の「ネットワークとダイヤルアップ接続」アイコンで「詳細設定」メニュー→「ネットワークID」→「ネットワークID」タブ→「プロパティ」ボタンをクリックすると見ることができます。

【F12】を押してもネットワークブートができない

「NEC」のロゴ画面で【F12】を押し続けてもネットワークブート処理が実行されないことがあります。この場合、再度【F12】を押しながら電源を入れてください。

赤外線通信
（赤外線通信ポートのあるモデルの場合）

赤外線通信できない

本機の通信ポートと通信相手の通信ポートの配置は正しいですか?

お互いの通信ポートが正面に向き合うようにして、20〜80cmの距離のところに置いてください。

デバイスを正しく設定していますか?

『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」をご覧になり正しい設定を行ってください。

デバイスマネージャの画面で赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いていませんか?

「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックして表示される「システムのプロパティ」ウィンドウの「ハードウェア」タブの「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。
赤外線通信のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いているときは、周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。
Windowsのヘルプまたは『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「赤外線通信機能」に従ってマークが付かないようにしてください。

BIOSセットアップメニューの設定は正しいですか?

コンパクトオールインワンノートのワイヤレスモデルおよび内蔵指紋センサモデルの場合、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定し、「赤外線ポート切り替え(IR Port Switch)」を「IR」に設定していないと、赤外線通信機能は使用できません。
それ以外のモデルの場合、BIOSセットアップメニューの「赤外線ポート(IR Serial Port)」を「自動(Auto)」に設定しないと、赤外線通信機能は使用できません。

光デジタル出力機能（ハイスペックノート、モバイルノートの場合）

デジタル出力からの音が鳴らない

オーディオ機器と正しく接続されていますか?

本機の光デジタルオーディオ(S/PDIF)出力端子と、デジタルオーディオ機器の光デジタル入力端子が、市販のデジタルケーブルで正しく接続されているか確認してください。

オーディオ機器のサンプリングレートが、本機のサンプリングレートに対応していますか?

本機の光デジタル出力のサンプリングレートは48KHzです。接続先のオーディオ機器が48KHzのサンプリングレート入力に対応しているか確認してください。

印刷

プリンタから印刷できない、プリンタから意味不明の文字が印字される

プリンタの電源は、入っていますか?

プリンタのマニュアルを見て電源を入れてください。

接続ケーブルが外れていたり、接触不良を起こしていませんか?

『活用ガイド　ハードウェア編』PART2の「プリンタ」とプリンタのマニュアルに従って、本機とプリンタを接続し直してください。

プリンタが用紙切れ、トナーやインク切れになっていませんか?

プリンタのマニュアルに従って用紙やトナー、インクを補充してください。

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、プリンタから印刷されなかったり予期しない内容が印字されることがあります。
このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。**

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。**

3 **「プリンタ」ウィンドウを閉じます。**

これで設定が終了しました。

プリンタが印刷可能な状態(オンライン)になっていますか?

プリンタの「印刷可」や「オンライン」の表示を確認してください。また、プリンタのマニュアルに従って設定を確認してください。

☹➡☺ プリンタのテスト印字はできますか?

プリンタには一般にテスト印字する機能があります。この機能を使ってプリンタの印字テストを行ってください。テスト印字ができないときは、プリンタの故障が考えられます。プリンタの製造元にご相談ください。

☹➡☺ プリンタの製造元が推奨するプリンタケーブルを使っていますか?

プリンタによっては、プリンタの製造元の指定したケーブルを使わないと印刷がうまくいかないものがあります。プリンタのマニュアルをご覧になり、ケーブルを確認してください。

☹➡☺ 使用したいプリンタ用のプリンタドライバがインストールされていますか?

新しくプリンタを使用するときは、プリンタドライバのセットアップが必要です。

参照 **プリンタドライバのセットアップ→プリンタのマニュアル**

☹➡☺ プリンタドライバの設定を確認してください。

プリンタドライバの設定によっては、正しく印刷されないことがあります。

参照 **プリンタドライバの設定→プリンタのマニュアル**

☹➡☺ デバイスの設定を確認してください

BIOSセットアップメニューの「パラレルポート(Parallel Port)」を「使用しない(Disabled)」設定にしている場合は、設定を解除してください。

参照 **デバイスの設定→『活用ガイド　ハードウェア編』のPART3「システムの設定」**

印刷しようとしたら「FAX送信」、「新しいメッセージの作成」などの印刷とは関係のないウィンドウが表示された

☹➡☺ 使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていますか?

使用したいプリンタが「通常使うプリンタ」になっていないと、上記のようなウィンドウが表示されることがあります。
このようなときは、次の手順に従ってプリンタの設定を行ってください。

1 **「スタート」ボタン→「設定」→「プリンタ」をクリックします。**

「プリンタ」ウィンドウが表示されます。

2 **使用したいプリンタのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「通常使うプリンタに設定」をクリックします。**

3「プリンタ」ウィンドウを閉じます。

これで設定が終了しました。

フロッピーディスク／スーパーディスク

「マイコンピュータ」の3.5インチFDをクリックしたが、ディスクの内容が表示されない



フロッピーディスクドライブは正しく接続されていますか?

フロッピーディスクドライブをケーブルで接続している機種では、ケーブルが正しく接続されているかどうか確認してください。

◆「デバイスの準備ができていません」と表示されたとき

ディスクをいったん取り出し、ラベルの貼られた方を手前、上向きにし、ディスクドライブの奥まで入れて、「再試行」をクリックしてください。
同じメッセージが表示されたときは、「キャンセル」をクリックし、ディスクを取り出し、別売のクリーニングディスクを使ってディスクドライブのヘッドをクリーニングしてください。
クリーニング後、再び同じ現象が起きるときは、他のディスクを入れてみてください。
このとき、他のフロッピーディスクをセットすると内容が表示されるときは、元のディスクの内容が壊れていると考えられます。復旧は困難です。



チェック!!

他のディスクをセットしても内容が表示されないときは、ディスクドライブの故障が考えられます。『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。



ディスクドライブのヘッドが汚れると、ディスクを読むことができなくなります。ひと月に一回を目安にクリーニングディスクを使ってクリーニングしてください。クリーニングディスクについては、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などにご相談ください。

また、ディスクが壊れた場合に備えて、重要なデータは必ずバックアップ(コピー)をとっておくようにしましょう。

◆しばらくたって、「ディスクはフォーマットされていません」と表示されたとき

セットされたディスクは、このパソコンでは読めないフォーマットのディスクか、フォーマットされていないことが考えられます。
ディスクに必要なファイルが入っていなければ、「はい」ボタンをクリックしてフォーマットしてから使ってください。

読み込みはできるが、書き込みができない

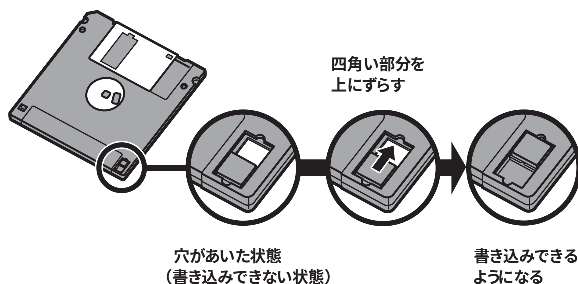
ディスクがライトプロテクトされていませんか?

ディスクがライトプロテクトされていないかどうか確認してください。ライトプロテクトされているときは、ライトプロテクトを解除してください。

メモ

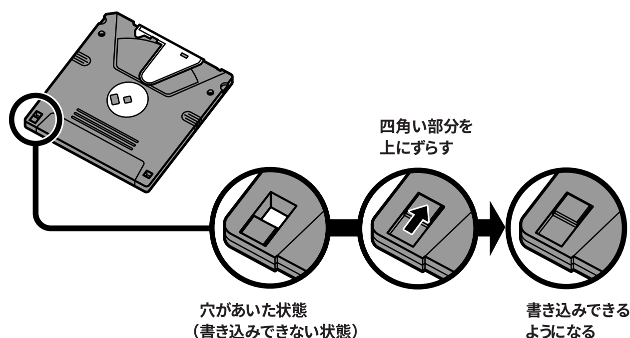
フロッピーディスクやスーパーディスクには、記録されている内容を間違って消したり、変更してしまわないように、書き込みを保護する機能(ライトプロテクト機能)があります。ファイルを保存するときは、ライトプロテクトノッチを書き込みできるほうにずらしてください。

◆フロッピーディスクの場合



システムディスクなど大切なディスクは、本当に書き込みをしていいか、もう一度確認しましょう。

◆スーパーディスクの場合



スーパーディスクドライブからディスクを取り出せない（ハイスペックノートのみ）

パソコンの電源が入っているか確認してください

パソコンの電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れができません。

電源が入っているのにディスクを取り出せないときは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「フロッピーディスクドライブ／スーパーディスクドライブ」をご覧になり、スーパーディスクを取り出してください。

ハードディスク

ハードディスクの空き領域が足りない

ハードディスクの空き領域を増やすには、次の方法があります。

●ハードディスクを増設する

●「ディスク クリーンアップ」でハードディスクの必要のないファイルを削除する

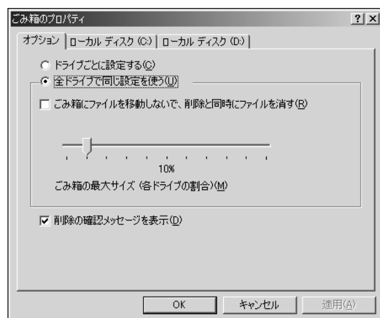
パソコンを使っていくと、「ごみ箱」に捨てたファイルやアプリケーションが作成する一時作業用ファイル、インターネットの一時保存ファイル、使わなくなったアプリケーションや、どのプログラムからも呼び出されていない「DLLファイル」などが蓄積され、ハードディスクが容量不足になることがあります。そのようなときは、「ディスク クリーンアップ」を使うと必要のないファイルを簡単に削除することができ、ハードディスクの容量を増やすことができます。
ディスク クリーンアップについては、Windowsの「ヘルプ」で「ディスク クリーンアップ」をキーワードにして検索してください。

●「ごみ箱」を空にする

削除したファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、デスクトップの「ごみ箱」に入っています。「ごみ箱」を空にすると、「ごみ箱」に入っていたファイルの分だけ、ハードディスクが空きます。「ごみ箱」を空にするときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして、メニューの「ごみ箱を空にする」をクリックします。
「ごみ箱」を空にしてもアイコンが消えない場合は、「ごみ箱」アイコンをダブルクリックして、「表示」メニューの「最新の情報に更新」をクリックします。

●「ごみ箱」の最大サイズを小さくする

「ごみ箱」の設定は、「ごみ箱」アイコンを右クリックし、メニューの「プロパティ」をクリックして、表示される「ごみ箱のプロパティ」ウィンドウで行います。



チェック!! ごみ箱の最大サイズを0%にすると、削除したファイルはごみ箱に保管されずに消えてしまいます。

●TEMPフォルダの中身を削除する

アプリケーションによっては、実行中に一時作業用ファイル(テンポラリファイル)を作成します。このファイルは、通常は、終了時に消去されますが、アプリケーションを強制終了すると、削除されません。一時作業用ファイルは、通常、WINNTフォルダの中のTEMPフォルダに作られます。

メモ

アプリケーションを実行中は、一時作業用ファイルは削除しないでください。アプリケーションが動かなくなることがあります。

●インターネットエクスプローラのテンポラリファイルを削除する

インターネットエクスプローラで、既に表示したページを後で参照する必要がないときは、次の方法でハードディスクの空き領域を増やすことができます。

1 **「インターネットエクスプローラ」を起動します。**

2 **「ツール」メニューから「インターネットオプション」をクリックします。**

3 **「全般」タブの「ファイルの削除」ボタンをクリックします。**



4 **「OK」ボタンをクリックし、もう一度「OK」ボタンをクリックします。**

●ハードディスクの内容を圧縮する

ハードディスクの内容を圧縮すると、空き領域を増やすことができます。

参照 **ドライブの圧縮→Windowsのヘルプ**

●インストールされているアプリケーションを削除する

すぐに使わないアプリケーションをハードディスクから削除すると、ハードディスクの空き領域を増やすことができます。

参照 **・添付アプリケーションの削除→PART2の「削除のしかた」**

・別売のアプリケーションの削除→アプリケーションに添付のマニュアル

ファイルをごみ箱に捨てても、ハードディスクの空き領域が増えない

削除したり「ごみ箱」にドラッグしたファイルは、ハードディスクからすぐに削除されずに、「ごみ箱」に保管されます。「ごみ箱」に保管されているファイルをハードディスクから削除したいときは、「ごみ箱」アイコンを右クリックして表示されるメニューから「ごみ箱を空にする」をクリックしてください。

領域作成できる容量が、カタログなどに記載されている値より少ない

カタログなどに記載されているハードディスクの容量は、1Mバイト=1,000,000バイトで計算しています。これに対し、ハードディスクを領域作成するときには、1Mバイト=1,024×1,024=1,048,576バイトで計算しているので、容量が少なく表示されることがありますが、故障ではありません。

Gバイト(ギガバイト)についても、同様の記述となっています。

ハードディスクをメンテナンスする方法を知りたい

ハードディスクを長時間使用している間に、まれにハードディスク自体や保存されているデータに障害を起こすことがあります。しかし、小さな障害であれば、付属のユーティリティを使うことですぐに復旧することができます。小さな障害であっても、放置すると被害が拡大する恐れがあります。これを防ぐために、こまめにハードディスクをメンテナンスしてください。
メンテナンスをするためのユーティリティには、ドライブのエラーをチェックするためのエラーチェックプログラムがあります。

●エラーチェックプログラムについて

エラーチェックプログラムを使うと、ハードディスク自体やハードディスクに保存されているデータに障害がないかどうか調べることができます。
詳しくはWindowsのヘルプまたは『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「内蔵ハードディスク」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

●不良セクタ、スキップセクタについて

ハードディスクは、きわめて精密に製造されますが、データが高密度で記録されるため、読み出しエラーの起こりやすい場所ができることがあります。これを「不良セクタ」または「スキップセクタ」といいます。
エラーチェックプログラムを実行すると「不良セクタ」と表示されることがありますが、これは、不良セクタを使わないように予防されたことを表しており、異常ではありません。

CD-ROM/CD-R/CD-RW/DVD-ROM

トレイを出し入れできない

パソコンの電源は、入っていますか?

パソコンの電源を入れて、イジェクトボタンを押してください。電源が切れている状態では、出し入れできません。
電源が入っているのにディスクトレイが出てこないときは、『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ」または「CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブ」をご覧になり、ディスクを強制的に取り出してください。

メモ

モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)でクラムシェルタイプのCD-ROMドライブをご使用の場合は、パソコンの電源が入っていなくてもディスクの出し入れが可能です。

ディスクをセットしても自動起動しない

ディスクは、自動起動に対応していますか?

自動起動に対応していないディスクは自動起動できません。ディスクのマニュアルで確認してください。

対応していないときは、Windowsのデスクトップ画面の「マイコンピュータ」からCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックして起動してください。

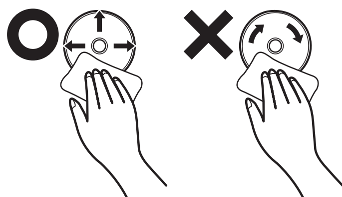
データを読み出せない、音楽CDの再生中に音飛びする

ディスクは正しくセットされていますか?

ディスクの表裏を確認して、ディスクトレイの中心の軸にきちんとセットしてください。

ディスクが汚れていませんか?

ディスクが汚れているときは、乾いた柔らかい布で内側から外側に向かって拭いてから使ってください。



ディスクに傷が付いていませんか?

傷がついているディスクは使えないことがあります。



添付されているディスクに傷がついて使えなくなったときなどは、有料で交換いたします。

ディスクがセットされているドライブに何らかの振動を与えませんでしたか?

振動を与えないようにして、操作をやり直してください。

このパソコンで使えるディスクかどうか確認してください

このパソコンで使えるディスクを使ってください。
アプリケーションなどのCD-ROMは、一般にOSごとに専用のものが用意されています。例えば、Windows 2000を使うときは、Windows 2000に対応したCD-ROMを使ってください。

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしませんでしたか?

音楽CDを再生中にフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れすると、音飛びの原因となります。
音楽CDの再生中はフロッピーディスクやスーパーディスクを出し入れしないでください。

再生中の動画がとぎれる、なめらかに再生されない

動画データ再生中に、他のアプリケーションを実行していませんか？

他のアプリケーションを終了させてください。
動画データのCD-ROMの再生には、パソコンの処理能力が多く必要になります。このため、複数のアプリケーションを同時に使うと動画データの処理が追い着かなくなり、画像がとぎれたり、なめらかに再生されなくなったりします。

再生中に、ウィンドウの大きさや位置を変えませんでしたか？

動画データの再生中にウィンドウの大きさや位置を変えると、音飛びや画像の乱れの原因になります。いったん動画の再生を停止してから操作してください。



アプリケーションによっては本機のメモリを増設すると、再生がよりなめらかになるものもあります。

動画の再生中に画面が消えてしまう

ビデオCDなど、MPEG形式の動画を再生中に省電力機能などが働くと、再生画面が消えてしまいます。動画を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフにしてください。

音楽CD再生中に音楽が止まってしまう

音楽CD再生中に省電力機能などが働くと、音楽が止まってしまいます。音楽を再生するときは、省電力機能やパワーマネージメント機能をオフに設定してください。

CD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号を変えたい

本機に標準で装備されているCD-ROMドライブ・CD-R/RWドライブ・CD-R/RW with DVD-ROMドライブのドライブ番号は、Eドライブに設定されています。ドライブ番号を変更する場合は、次のように操作してください。

1 **「コントロールパネル」を開き「管理ツール」アイコンをダブルクリックします。**

「管理ツール」ウィンドウが開きます。

2 **「コンピュータの管理」アイコンをダブルクリックします。**

「コンピュータの管理」ウィンドウが開きます。

3 **「記憶域」をクリックし「ディスクの管理」をクリックします。**

4 **「CDROM」ボタンを右クリックし、一覧から「ドライブ文字とパスの変更」をクリックします。**

5 **「編集」ボタンをクリックします。**

6 **▼をクリックして、表示された一覧の中から選択します。**

7 **「OK」ボタンをクリックします。**

ドライブ文字の変更を確認するメッセージが表示されます。

8 **「はい」をクリックします。**

9 **「コンピュータの管理」を終了します。**

CD-ROMの読み取りエラーメッセージが表示されたら

CD-ROMを使用するプログラムを実行中にディスクを取り出すと、エラーメッセージが表示されます。取り出したディスクをセットし直して、【Enter】を押してください。なお、このメッセージ内でシリアル番号が表示されることがありますが、無視してください。

CD-R/CD-RWに書き込み中にエラーになった(CD-R/RWモデル・CD-R/RW with DVD-ROMモデルのみ)



書き込み中にスクリーンセーバーが起動したり、本機がスタンバイ状態(サスペンド)になったりしませんでしたか?

Easy CD Creatorなどのトラックアットワンス方式やディスクアットワンス方式のCD-R書き込みソフトを使って、CD-R/CD-RWにデータの書き込みを行う場合、他のアプリケーションが起動していると書き込みエラーになることがあります。

CD-R/CD-RWに書き込みを行う場合には、以下の操作をおすすめします。

- スクリーンセーバーを起動させないようにする
- スタンバイ状態(サスペンド)に移行させないようにする
- 他のアプリケーションを終了する
- 常駐プログラムをオフにする

ACアダプタを接続していますか?

CD-R/CD-RWにデータを書き込んでいるときにバッテリの残量がなくなると、データの書き込みに失敗します。CD-R/CD-RWにデータを書き込むときには、かならずパソコンにACアダプタを接続してお使いください。

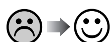
周辺機器

別売の周辺機器を取り付けたが動作しない。別売の周辺機器を取り付けたらパソコンが起動しなくなった。他の機能が使えなくなった



正しく接続されていますか?

コネクタやネジがゆるんでいないか確認してください。



割り込みレベルなどの設定は正しいですか?

周辺機器には、取り付けるときに、割り込みレベル、DMAチャネルなどの設定が必要なものがあります。
周辺機器が使う割り込みレベルがすでに使われていると、パソコンが起動しなくなったり、動作が不安定になったりします。割り込みレベルが重ならないように、どちらかの設定を変更してください。
周辺機器の割り込みやドライバなどの設定は、「デバイスマネージャ」で確認します。

メモ　デバイスマネージャの表示方法

1 「コントロールパネル」を開き「システム」アイコンをダブルクリックします。

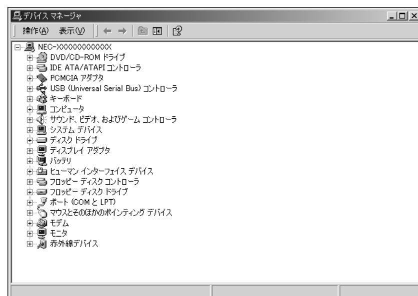
「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。



画面はモデルによって多少異なります

2 **「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。**

「デバイスマネージャ」の画面が表示されます。



画面はモデルによって多少異なります

参照 **割り込みレベル、DMAチャネル→『活用ガイド　ハードウェア編』PART4の「割り込みレベルとDMAチャネル」**

取り付けた周辺機器のところに赤い「×」や黄色い「!」が付いているときは、その周辺機器が何らかの理由で正常に動作していないことが考えられます。

周辺機器の設定は正しいですか?

周辺機器によっては、設定スイッチの変更やドライバなどのインストールが必要な場合があります。

参照 **周辺機器のマニュアル**

トラブルをおこしたドライバを削除し、正しいドライバをインストールするときには、セーフモードでWindows 2000を起動して、次の手順に従って設定してください。

1.セーフモードでWindowsを起動する

1 **本機の電源を入れます。**

2 **画面下に「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについてはF8キーを押してください。」と表示されたら【F8】を押し、表示される画面で「セーフ モード」を選び【Enter】を押します。**

3 **「オペレーティング システムの選択」画面が表示された場合は、画面左下に「セーフ モード」の表示があるのを確認し、Windows 2000を選び【Enter】を押します。**

Windows 2000にログオンします。

4 「WindowsはセーフモードWで実行されています。」と表示されたら「OK」ボタンをクリックします。



セーフモードで起動しなかった場合は、もう一度、上記の手順を実行してください。

2.取り付けた周辺機器のドライバを無効にする

1 「コントロールパネル」を開き、「システム」アイコンをダブルクリックします。

「システムのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 「ハードウェア」タブをクリックし、「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。

デバイスマネージャの画面が表示されます。

3 取り付けた周辺機器のアイコンをダブルクリックします。

4 「全般」タブをクリックして「デバイスの使用状況」の▼をクリックし「このデバイスを使わない(無効)」を選択します。

5 「OK」ボタンをクリックします。

Windowsを再起動すると、通常のモードで起動します。

3.周辺機器を使いたいときはドライバを更新する

周辺機器の最新のドライバを用意してください。

1 上記「取り付けた周辺機器のドライバを無効にする」の手順1～3を行います。

2 「ドライバ」タブをクリックして「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがってください。



最新のドライバは周辺機器メーカーのホームページなどでダウンロードしてください。また、Windows Updateでも周辺機器のドライバを更新できることがあります。p.138の「Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい」をご覧ください。

4 トラブル解決Q&A

プラグアンドプレイ対応の周辺機器のドライバをインストールしたが、デバイスマネージャの画面に黄色い「!」が表示され、周辺機器が動作しない

 **ドライバをインストールした後、本機を再起動しましたか?**

PCカードなどのプラグアンドプレイに対応した周辺機器のドライバをインストールした場合は、本機を再起動した後、周辺機器が使えるようになります。ドライバをインストールした後、本機を再起動してください。

Windows Updateで最新のデバイスドライバをダウンロードしてドライバを更新したい

「デバイスドライバの更新ウィザード」を利用すると、周辺機器のドライバを更新することができます。さらに、「デバイスドライバの更新ウィザード」でWindows Updateを利用するとMicrosoftのサーバに接続し、最新のデバイスドライバをダウンロードして、最適なドライバに更新することができます。次の操作にしたがってドライバの更新をしてください。

1 デバイスマネージャの画面を表示します。**(→p.135)**

2 一覧の中から、該当するハードウェアの左の⊞をクリックし、該当するデバイス名をダブルクリックします。

3 「ドライバ」タブをクリックします。

4 「ドライバの更新」ボタンをクリックします。

「デバイスドライバのアップグレードウィザード」ウィンドウが表示されます。

5 「次へ」ボタンをクリックします。

6 「デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)」が選ばれていることを確認して、「次へ」ボタンをクリックします。

7 「Microsoft Windows Update」の□(オフ)をクリックして☑(オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

Windows Updateが起動して最新のデバイスドライバをダウンロードします。

インターネットに接続していない場合は「ダイヤルアップ接続」の画面が表示されますので、インターネットに接続してからダウンロードしてください。

8 「更新されたドライバ(推奨)」の □ (オフ)をクリックして ☑ (オン)にして、「次へ」ボタンをクリックします。

以降は画面の指示にしたがって、ドライバを更新してください。

Windows Updateをしたが、以前の状態に戻したい

Windows Updateをしたあとに以前の状態に戻したいときは次の操作にしたがってください。

1 「スタート」ボタン→「プログラム」→「アクセサリ」→「システム ツール」→「システム情報」をクリックします。

「システム情報」ウィンドウが表示されます。

2 メニューバーの「ツール」→「Windows」をクリックして「更新ファイルのアンインストール」をクリックします。

「'Windows 2000 CD-ROM'のラベルの付いたCDをCD-ROMドライブに挿入して「OK」をクリックしてください。」というメッセージが表示された

プリンタなどの周辺機器に添付されているフロッピーディスクからドライバをインストールする場合、上記のようなメッセージが表示されることがあります。この場合、次のようにして対処してください。

1 「OK」をクリックします。

「ファイルのコピー元」を入力する画面が表示されます。

2 「C:¥i386」と入力して「OK」をクリックします。

以降は画面の指示に従ってドライバをインストールしてください。

アプリケーション

アプリケーションが起動しない。パソコンの動作が遅い



アプリケーションを起動するのに必要なだけメモリは空いていますか?

パソコンのシステムリソースが不足すると動作が不安定になり、フリーズすることがあります。システムリソースの空き容量を確認してください。
リソース不足の場合は以下の操作を行い、システムリソースの空きを確保してください。

◆起動中のアプリケーションを終了する

複数のアプリケーションを同時に起動すると、リソースが少なくなります。起動中のアプリケーションを終了してください。
また、ファイルサイズの大きい壁紙を使用している場合にも、パソコンの動きが遅くなることがあります。この場合は、ファイルサイズの小さい壁紙に変更してください。また、終了したいアプリケーションがアクティブになっておらず、選択できないときは、次の手順でアプリケーションを終了してください。

1 **【Alt】を押しながら【Tab】を押します。**

   ウィンドウが表示されます。

2 **【Alt】を押したまま【Tab】を押してアプリケーションを選択し、【Alt】を離します。**

3 **タスクバーに表示されているアプリケーション名を右クリックします。**

   メニューが表示されます。

4 **「閉じる」をクリックします。**

これでアプリケーションを終了することができます。
作成中のデータなどがある場合は、保存の確認をするメッセージが表示されますので、メッセージにしたがって操作してください。

◆常駐プログラムを終了する

画面右下のインジケータ領域(タスクトレイ)にある使っていない常駐アプリケーションのアイコンを右クリックし、アプリケーションを終了する項目(アプリケーションによって違いますが、「終了」「終了する」などが一般的です)をクリックしてアプリケーションを終了してください。

◆アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合

アプリケーションを終了してもリソースが不足している場合があります。この場合は、Windowsを再起動してください。

◆常駐プログラムを非常駐にする

以上の操作をしても問題が解決しない場合、次の手順で常駐アプリケーションを非常駐にしてください。

1. **「スタート」ボタン→「プログラム」→「スタートアップ」をクリックし、非常駐にしたい常駐アプリケーションを右クリックします。**
2. **「削除」をクリックします。**
   メッセージが表示されます。
3. **「はい」をクリックします。**
4. **「スタート」ボタン→「シャットダウン」をクリックします。**
5. **「再起動」を選択し、「OK」をクリックします。**
   本機が自動的に再起動します。
   これで常駐アプリケーションが非常駐になります。

参照 **アプリケーションの起動に必要なメモリ容量を調べるときには→アプリケーションのマニュアル**



アプリケーションはこのパソコンに対応していますか?

アプリケーションによっては、このパソコンで動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。



アプリケーションは省電力機能に対応していますか?

対応していないアプリケーションを使用中にスタンバイ状態(サスペンド)にすると、正常に動作しなくなることがあります。対応していないアプリケーションを使用中は、スタンバイ状態(サスペンド)にしないでください。
省電力機能を使って、電源を切ることができなくなったときには、約4秒以上電源スイッチを操作し続けて、強制的に電源を切ってください。

アプリケーションの削除をしませんでしたか?

アプリケーションの削除を中断したあとに、そのアプリケーションが動作しなくなった場合は、本機を再起動してください。
それでも動作しない場合は、アプリケーションの再追加が必要です。

フルカラーにするようにというメッセージが表示された

アプリケーションの中には、画面の表示色をフルカラーにしないと正常に動作しないものがあります。画面の表示色を変更してください。

参照 **画面の表示色を変更するには→『活用ガイド　ハードウェア編』PART1の「液晶ディスプレイ」の「解像度と表示色を変更する」**

アプリケーションをインストールできない

アプリケーションはこのパソコンに対応していますか?

アプリケーションによっては、このパソコンでは動作しないものや、別売の周辺機器が必要なものがあります。アプリケーションのマニュアルで「動作環境」や「必要なシステム」を確認してください。

アプリケーションのインストール先がAドライブになっていませんか?

インストール先をハードディスクのドライブ名(購入時の状態では、Cドライブ)に変えて、インストールし直してください。

アクティブデスクトップをWebページで表示していませんか?

アクティブデスクトップをWebページで表示するように設定している場合、アプリケーションを正しくインストールできないことがあります。次の手順でアクティブデスクトップの設定を変更してください。

1. **デスクトップ上の何もないところで、右クリックします。**
2. **表示されるメニューから「アクティブデスクトップ」→「Webコンテンツの表示」をクリックします。**

   「Webコンテンツの表示」の左側にチェックが付いていないことを確認してください。

「インストール先のハードディスクが空き領域不足のためインストールできません」というようなメッセージが表示されませんでしたか?

アプリケーションを新しくインストールするときに、ハードディスクに一定の空き領域が必要な場合があります。アプリケーションに添付のマニュアルをご覧になり、ハードディスクに必要な空き領域を確認してください。ハードディスクの空き領域が足りないときは、空き領域のある他のドライブにインストールしてください。

参照 **ハードディスクの空き領域を増やすには→「ハードディスクの空き領域が足りない」(p.126)**



どうしてもハードディスクの空き領域を増やすことができないときは、セットアップ時にセットアップの方法を「最小」や「カスタム」にすることで、必要最低限の機能だけをインストールできるアプリケーションもあります。

Windows 2000に対応していないMS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用、またはWindows 98用のアプリケーションをインストールしようとしていませんか?

MS-DOS用、Windows 3.1用、Windows 95用、Windows 98用のアプリケーションの中にはインストールできないものがあります。各アプリケーションの製造元にご確認ください。

再セットアップするときに、インストールするアプリケーションを選びたい

アプリケーションを選んで再セットアップすることはできません。再セットアップすると、購入したときにインストールされていたすべてのアプリケーションがインストールされます。インストールしたくないアプリケーションがあるときは、再セットアップしたあとで、削除してください。

Windows 98/Windows 95/Windows NT 4.0のアプリケーションをWindows 2000でも使用したい

Windows 98/Windows 95/Windows NT 4.0のアプリケーションがWindows 2000でもそのまま使えるかどうかはアプリケーションによって異なります。

◆本機にあらかじめインストールまたは添付されているアプリケーションの場合

アプリケーションの名称に「・・・for Windows 98」や「Windows 98版」などと記載されていたり、アプリケーションの画面やヘルプに「Windows 98」と記述されていても問題なく動作します。

◆市販されているアプリケーションの場合

Windows 2000で問題なく使用できるかどうかについては、アプリケーションの購入元にご確認ください。

その他

日付と時刻を確認する

内蔵のカレンダ用電池は十分に充電されていますか?

本機の内蔵時計はカレンダ用電池で動いています。内蔵のカレンダ用電池が十分に充電されていないと、日付や時刻が正しく表示されないことがあります。本機購入後すぐや、本機を2カ月以上使用しなかった後などには、本機のACアダプタを約40時間以上接続したままにしてカレンダ用電池を充電してから、次の手順に従って日付と時刻をもう一度設定し直してください。

1 **「コントロールパネル」を開き「日付と時刻」アイコンをダブルクリックします。**

「日付と時刻のプロパティ」ウィンドウが表示されます。

2 **正しい日付と時刻をそれぞれクリックして選びます。**



3 **「OK」ボタンをクリックします。**

これで正しい日付と時刻が設定されました。

Windows Updateができない

インターネットに正しく接続されていますか?

「接続できない」(→p.103)をご覧になり、もう一度接続を確認してください。

インターネットプロバイダとの契約はお済みですか?

Windows Updateは、インターネット経由で接続するため、インターネットプロバイダとの契約が必要です。

Windows 2000ユーザー登録はお済みですか?

Windows Updateを利用するには、Windows 2000ユーザー登録をしておく必要があります。
ユーザー登録をしていないときは、「Windows Update-登録してください」ウィンドウが表示されますので、「はい」ボタンをクリックして、引き続き、画面の指示にしたがってユーザー登録をしてください。

2000年問題について知りたい

各アプリケーションが2000年問題に対応しているかどうかは、アプリケーションの製造元にお問い合わせください。

用語 2000年問題

慣習的に西暦年号は2桁で表現され、同様にコンピュータの世界でも2桁の年号が多く使われてきました。西暦2000年を迎えたときに、アプリケーションによっては、年号が00になってしまい、日付をキーにした期間計算などの結果が不正となり、業務システム等に多大な影響を与えることが考えられます。これがコンピュータの西暦2000年問題です。

起動ディスク(セットアップディスク)を作成したい

セットアップディスクは、なんらかのトラブルによりWindowsがハードディスクから起動できなくなったときに、フロッピーディスクまたはスーパーディスクから起動するために使うものです。
セットアップディスクを作成するには、フォーマット済みのフロッピーディスクが4枚必要です。

セットアップディスクは、次の手順で作成します。

1 **「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」をクリックします。**

2 **「名前」欄に「C:¥BOOTDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、「OK」ボタンをクリックします。**

チェック!! **BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。**

画面の指示に従ってセットアップディスクを作成してください。
作成が終了したら、1枚目のディスクをフロッピーディスクドライブに挿入してください。

3 **「メモ帳」を起動し、Aドライブの「TXTSETUP.SIF」を開きます。**

4 **[Setup Data]セクションにある次の記述の先頭のセミコロン(;)を削除してから上書き保存します。**

;SetupSourceDevice=¥device¥harddisk0¥partition1

この文の先頭のセミコロン(;)を削除する

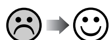
harddiskは、ハードディスクの番号です(0からはじまります)。
partitionは、パーティションの番号です(1からはじまります)。

ハードディスクパーティションの番号は、「コントロールパネル」を開き、「管理ツール」→「コンピュータの管理」→「記憶域」→「ディスクの管理」で確認してください。

チェック!! **この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。ご購入時にはi386フォルダはCドライブのルートにあります。修復セットアップを行うには、i386フォルダがCドライブのルートになければなりません。i386フォルダをCドライブのルートから移動する場合には注意してください。**
また、i386フォルダをCドライブ以外に移動した場合は、harddiskとpartitionの番号が変わりますので記述を変更してください。

参照 **起動ディスクを作成したい、修復再セットアップをしたい→『活用ガイド　再セットアップ編』の「システムを修復する」**

動作状況が不安定になった



LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしませんでしたか?

LANに接続して通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にすると、本機が正常に動作しなくなることがあります。通信中にスタンバイ状態(サスペンド)や休止状態(ハイバネーション)にしないでください。

Windows 2000の「電源オプション」で自動的にスタンバイ状態(サスペンド)になる設定をしている場合は、設定を解除してください。

コンピュータウイルスが検出された

VirusScanなどによってコンピュータウイルスに感染したファイルが検出されたら、すぐにウイルスを駆除し、『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧のうえ、最寄りのNECフィールディングの各支店、営業所などにご連絡ください。ウイルスの駆除や届出について詳しくはp.66〜69をご覧ください。

「追加情報 READMEファイル」を参照したい

「スタート」ボタン→「プログラム」→「追加情報」をご覧ください。

Windows Meを利用したい

PART5の「Windows Meを使う」(→p.150)をご覧になり、Windows Meをインストールしてご利用ください。なお、本機にインストールされているソフトウエアはWindows Meでは利用できません。

PART

5

付録

ここでは、機器の機能に関連した補足情報を記載してあります。

他の0Sを利用する

Windows Meを使う

チェック!! **本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows Meでは利用できません。**

本機で別売のWindows Meを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして「¥WIN98¥SETUPME. TXT」をご覧ください。また、Windows Meをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある「SETUPME.TXT」をご覧ください。

- セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。
- ドライバのセットアップを行うとき、コントロールパネルに目的のアイコンが存在しない場合があります。その場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19QME
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム／LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDXIRME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGE_ME
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥WIN98¥3MODEFD2

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥YMF743
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMCME
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDCRBAME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SAVIXME
モニタの設定	¥WIN98
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥WIN98¥3MODEFD1
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1978S
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19RME
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDXIRME
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGER_ME
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD-ME
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1988W
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME
BaySwapユーティリティ	¥WIN98¥OPTIONS¥OTHER¥BAYSWAP

◎ モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE2
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDMDCME
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SM721ME
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※	¥WIN98¥3MODEFD2
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1988W
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMCME
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC3ME

※ 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。

Windows 98/Windows 98 Second Editionを使う

チェック!!

- **ここでの説明で記載されている「Windows 98」は、Windows 98 Second Editionを含んでいません。**
- **本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows 98/Windows 98 Second Editionでは利用できません。**

本機で別売のWindows 98/Windows 98 Second Editionを使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

・**Windows 98の場合**

¥WIN98¥SETUP98.TXT

・**Windows 98 Second Editionの場合**

¥WIN98¥SETUPSE.TXT

また、Windows 98/Windows 98 Second Editionをセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。
ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある下記のファイルをご覧ください。

・**Windows 98の場合**

SETUP98.TXT

・**Windows 98 Second Editionの場合**

SETUPSE.TXT

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

チェック!! **PCカード(PCMCIA)の設定のセットアップは、Windows 98をインストールした場合のみに必要です。Windows 98 Second Editionをインストールした場合は必要ありません。**

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19Q9X
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ (モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDXIR9X
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGE_98
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
3モード対応フロッピーディスクドライバ※1	¥WIN98¥3MODEFD2
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥YMF743
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMC98
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
ハイバネーション設定ユーティリティ※2	¥WIN98¥NECUTILS¥HDPREP

※1 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。
※2 セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。

◎ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDCRBA9X
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SAVAGEIX
モニタの設定	¥WIN98
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
スーパーディスクドライバ	¥WIN98¥LS120
3モード対応フロッピーディスクドライバ※1	¥WIN98¥3MODEFD1
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1978S
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRNSC98
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
ハイバネーション設定ユーティリティ※2	¥WIN98¥NECUTILS¥HDPREP

※1 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。
※2 セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
USBフロッピーディスクドライバ	¥WIN98¥USBFD
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥WIN98¥MD19R9X
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(モデム/LAN同時搭載のモデル)	¥WIN98¥MDXIR9X
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥RAGER_98
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチ スタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NX パッド	¥WIN98¥NXPAD-ME
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1988W
携帯電話/PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
BaySwapユーティリティ	¥WIN98¥OPTIONS¥OTHER¥BAYSWAP
ハイバネーション設定ユーティリティ※	¥WIN98¥NECUTILS

※ セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。

◎ モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
USB CD-ROMドライバ(USB CD-ROMドライブ添付のモデルのみ)	¥WIN98
プラグ&プレイの設定	¥WIN98¥CHIPSET
PCカード(PCMCIA)の設定	¥WIN98¥PCMCIA
内蔵LANボード対応ドライバ	¥WIN98¥100BASE
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	¥WIN98¥MDMDC9X
ワイヤレス通信機能ドライバ	¥WIN98¥PHS

5 付録

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥WIN98¥SM721
モニタの設定	¥WIN98
ワンタッチスタートボタンの設定	¥WIN98¥MFNB¥MF6BAPS
NXパッド	¥WIN98¥NXPAD
3モード対応フロッピーディスクドライバ※1	¥WIN98¥3MODEFD2
MS-DOSモード用CD-ROMドライバ	¥WIN98¥CDROM
内蔵サウンド対応ドライバ	¥WIN98¥ES1988W
自動メール受信ユーティリティ	¥WIN98¥AMR
赤外線通信機能ドライバ	¥WIN98¥IRSMC98
携帯電話／PHS接続機能ドライバ	¥WIN98¥MMC398
ハイバネーション設定ユーティリティ※2	¥WIN98¥NECUTILS¥HDPREP

※1 1.2MBのフロッピーディスクの読み書きをする必要がある場合に、3モード対応フロッピーディスクドライバをセットアップしてください。
※2 セットアップ方法については「SETUP98.TXT」をご覧ください。

Windows NT 4.0を使う


チェック!!

- **本機にインストールされているソフトウェア、および添付のソフトウェアは、Windows NT 4.0では利用できません。**
- **モバイルノート（ベイ内蔵型）では、Windows NT 4.0をインストールしてご使用になることはできません。**

本機で別売のWindows NT 4.0を使う場合の手順や注意事項については、添付のアプリケーションCD-ROMをセットして下記のファイルをご覧ください。

- **OSのセットアップ手順**
  E:¥NT40¥SETUP.TXT
- **セットアップ時の注意事項**
  E:¥NT40¥Readme.TXT

なお、Windows NT 4.0のセットアップ後に、ドライバのコピーを行う必要があります。それぞれ、下記のドライバコピー用のバッチファイルを実行してください。

- **コンパクトオールインワンノート、モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合**
  DRVCOPY2.BAT
- **ハイスペックノートの場合**
  DRVCOPY1.BAT

また、Windows NT 4.0をセットアップしたあと、次の順序でドライバのセットアップを行う必要があります。
ドライバのセットアップ方法について詳しくは、各ドライバの格納フォルダにある「SETUP.TXT」をご覧ください。

セットアップ中にはファイルが見られなくなる場合がありますので、印刷してご利用になることをおすすめします。

◎ コンパクトオールインワンノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	¥NT40¥100BASE
ワンタッチスタートボタンの設定	¥NT40¥MFKNT4
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	¥NT40¥MOBILITY
内蔵サウンド対応ドライバ	¥NT40¥YMF743
MIDIドライバ	¥NT40¥Y743MIDI
NXパッド	¥NT40¥SLIDEPAD
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(モデム／LAN同時搭載のモデル)	¥NT40¥XCMODEM
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ(LAN非搭載(モデムのみ)のモデル)	¥NT40¥LTMODEM2
ワイヤレス通信機能	¥NT40¥PHS

◎ ハイスペックノートの場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	￥NT40￥100BASE
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	￥NT40￥SAVAGEIX
内蔵サウンド対応ドライバ	￥NT40￥MAESTRO2
NXパッド	￥NT40￥SLIDEPAD
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	￥NT40￥LTMODEM
スーパーディスク3モード対応ドライバ（スーパーディスクモデル）	￥NT40￥LS120DRV
スーパーディスク専用フォーマットユーティリティ（スーパーディスクモデル）	￥NT40￥MKELS120

◎ モバイルノート（ベイ内蔵型を除く）の場合

セットアップが必要なドライバ	ドライバの格納フォルダ
内蔵LANボード対応ドライバ	￥NT40￥100BASE
ワンタッチスタートボタンの設定	￥NT40￥MFKNT4
内蔵アクセラレータ対応ドライバ	￥NT40￥SM721
内蔵サウンド対応ドライバ	￥NT40￥ES1988
NXパッド	￥NT40￥SLIDEPAD
内蔵FAXモデムボード対応ドライバ	￥NT40￥RWMODEM
ワイヤレス通信機能ドライバ	￥NT40￥PHS

アフターケアについて

■ 保守サービスについて

お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などで承っております。お問い合わせ窓口やお問い合わせの方法など、詳しくは『NEC PCあんしんサポートガイド』をご覧ください。


チェック!!

- **ご購入元、NECフィールディングの各支店、営業所などに本機の修理を依頼される際は、設定したパスワードは解除しておいてください。**
- **故障箇所によっては、本機ご購入後にハードディスクドライブやメモリ内に保存されたデータを完全には復旧できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。**

■ 添付品の修復、再入手方法について

本機の添付品のうち、次のものは、修復、再入手が可能です（有料）。

- **フロッピーディスク**
- **CD-ROM**

パソコンの型名などは、紛失に備えて控えておくことをおすすめします。

■ 消耗品と消耗部品について

本機の添付品のうち、消耗品と消耗部品は次のとおりです。
また、本製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後7年です。

種類	概要	本機の場合
消耗品	使用頻度あるいは経過年数により消耗し、一般的には再生が不可能なもので、お客様ご自身で購入し、交換していただくものです。保証期間内であっても、有料です。	バッテリパック フロッピーディスク CD-ROM（媒体）
消耗部品 （有償交換部品）	使用頻度あるいは経過年数により消耗、摩耗、または劣化し、修理再生が不可能な部品です。NECフィールディングの各支店、営業所などで交換し、お客様に部品代を請求するものです。保証期間内であっても有料の場合があります。	液晶ディスプレイ

5
付録

■ 本製品の譲渡について

本製品を第三者に譲渡される場合は、所定の条件に従ってください。また、譲渡を受けられたときには、所定の手続きに従って、「お客様登録」を行ってください。

◎譲渡されるお客様へ

本製品を第三者に譲渡(売却)するときは、以下の条件を満たす必要があります。

① 本機に添付される全てのものを譲渡し、複製物を一切保持しないこと

② 各ソフトウェアに添付されている「ソフトウェアのご使用条件」の譲渡、移転に関する条件を満たすこと

③ 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、削除したあと、譲渡すること(本機に添付されている「ソフトウェアの使用条件適用一覧」をご覧ください)

チェック!!

- **パソコン内のデータには、個人的に作成した情報が多く含まれています。第三者に情報が漏れないように譲渡の際には、これらの情報を削除することをお勧めします。**
- **ご登録されている製品を第三者に譲渡(売却)される場合は、121ware登録センター(TEL: 0120-469-121)までご連絡のうえ、必ず登録削除の手続きをお願いいたします。**

◎譲渡を受けられるお客様へ

「お客様登録」に必要な次ページの事項を記入し、お手数ですが官製ハガキまたは封書でお送りください。
ご連絡いただきましたお客様へは、適時、展示会、イベント、キャンペーン、セミナーなどのご案内や、ソフトメーカー様からの新作ソフトのご紹介等をお送りいたします。

チェック!! **「お客様登録申込書」が未使用で残っていても、「お客様登録申込書」は使わないでください。**

記載内容

① **本体型名および保証書番号(本体背面または本機底部に記載の製造番号)および当社が添付しているフロッピーディスクラベル上の「Serial No.」(いずれのソフトも同一)※**
※「Serial No.」がない場合は不要です。

② **以前に使用されていた方の氏名、住所、電話番号もしくは中古購入されたお店の名称、住所、電話番号**

③ **あなたの氏名、住所、電話番号**

返送先

〒183−8501 東京都府中市日新町一丁目10番地(NEC府中事業場)
NEC 121ware登録センター係行

■ 本機の廃棄方法について

◎ハイスペックノート、モバイルノート(ベイ内蔵型を除く)の場合

・本機の所有者が事業者の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行が義務づけられています。廃棄方法およびマニフェストに関しましては、各都道府県産業廃棄物協会へお問い合わせください。
また、当社では、本機の回収・リサイクルシステムを準備しております。廃棄と回収・リサイクルシステムについては「マニュアルCD-ROM」の『環境ガイド』をご覧ください。

・本機の所有者が個人の場合

本機を廃棄するときにマニフェスト(廃棄物管理票)の発行義務はありません。廃棄方法に関しては、市町村等の各自治体にお問い合わせください。

◎その他のモデルの場合

地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。

索　引

トラブル解決 Q&A内容一覧

はじめて電源を入れたとき

電源を入れたとき

電源を切るとき

省電力機能

バッテリ

表示

NXパッド

文字入力

ファイル保存

インターネット／パソコン通信

索引

周辺機器

アプリケーション

その他

索引

索引

英字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

わ行

トラブルチェックシート

お問い合わせにお答えするには、あなたのパソコンの構成やトラブルの具体的な症状をお知らせいただく必要があります。
このシートに記入してからお問い合わせしていただくと、より的確で迅速なお答えができます。ぜひ、記入してからお問い合わせください。

トラブルチェックシート１　あなたのパソコンの構成

■ハードウェア

本体	
型名	
製造番号（パソコンの底部に記載されています）	
メモリの容量	MB（メガバイト）
ハードディスクの容量	GB（ギガバイト）
ハードディスクの空き領域	GB（ギガバイト）
ハードディスクの容量、空き領域を調べるには→マイコンピュータを開き、ハード ディスクの アイコンを右クリックして、表示されるメニューの「プロパティ」をクリックしてください。使用領域や空き領域が表示されます。	
周辺機器	品名・型名（メーカー名）
ディスプレイ	
プリンタ	
増設ハードディスク	
PC カード	
その他の周辺機器	

■ソフトウェア

OS のバージョンと発売メーカー
□ Windows Me　（バージョン　　　　　　） □ Windows 98　（バージョン　　　　　　） □ Windows 2000（バージョン　　　　　　） □ Windows NT 4.0（バージョン　　　　　　）
トラブルが起きたときに起動していたアプリケーション

トラブルチェックシート２　具体的なトラブルの内容

●どんなトラブルが起きましたか?　トラブルの内容を書いてください。

●画面にエラーメッセージや番号などが表示されませんでしたか?
メッセージや番号を書いてください。

●そのトラブルはどんなときに起きましたか?

□パソコンを起動するたびに起きる

□そのアプリケーションを起動するたびに起きる

□特定の操作を行うと起きる

□はじめて起きた

●その他に気づいたことがあれば書いてください。



活用ガイド
ソフトウェア編

PC98-NX SERIES

VersaPro

（Windows® 2000 Professional インストール）

初版　2001年2月
NEC
P
853-810060-020-A